

One Purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

145

2005
December
DOSHISHA UNIVERSITY



特集 フィールドワーク ~ 書を持って街に出よう! ~

同志社人訪問 **ハウス オブ シセイドウ**
主任学芸員 **池田 香さん**に聞く

新島襄の旅した風景 **南九州編**

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

COVER STORY
表紙の情景
[アメリカンフットボール場]



秋とはいえ、少し肌寒い京田辺キャンパス。しかし、体育会アメリカンフットボール部Wild Roverの選手たちは、秋季リーグ龍谷大学戦を控え、熱のこもった練習を行っていた。

ここアメリカンフットボール場、そして隣接するサッカー場が人工芝化されたのは9月末のこと。広さは約18,900㎡。新しくなったホームグラウンドを前に、主将の杉岡省吾さん(法学部法律学科4年次生)は「以前の土のグラウンドでは、雨が降るとぬかるんでしまって十分な練習ができませんでした。試合会場は人工芝であることが多いので、試合感覚で練習に取り組めます」と話す。

現在、部員は100人以上。「わがWild Roverの良いところは、みんな、アメリカンフットボールが心底好きだということです」と杉岡主将は胸を張る。未経験者でも、各人の個性を活かして伸びる選手も多いという。スローガンは「挑戦」。

チーム名のWild Roverは、夢と情熱に満ち溢れた当時22歳の新島襄をボストンへ運んだ船の名前だ。

チームは一隻の船。選手一人ひとりが創立者の夢と情熱を引き継ぐ乗組員として、現代のWild Roverはフィールドを伸びやかに航海する。

大学の活動



特集

フィールドワーク
~ 書を持って街に出よう! ~ ----- 2

来年度就職活動をめざす皆さんへ ----- 11

同志社創立130周年記念 新島メモリアルウォーク ----- 18

CAMPUS NEWS ----- 19

「DICOMO2005」でヤングリサーチ賞を受賞 / 全日本高校・大学生書道展賞を漢字・調和体の2部門で受賞 / ジョブカフェベンチャーアワードで政策学部1年次生が優勝 / 同志社大学法学会第49回移動法律相談 / ホームカミングデー2005“精神に帰る一日” / 人力俤友之会 ツール・ド・山陰 ~ 限界への挑戦!800km ~ / 初の学生チャンピオン、ビリヤード日本一! / 文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブに採択 / 同志社京田辺祭2005 / ラグビー場人工芝整備資金募金についてのお願い / 2005年度資格試験合格ランキング / 卒業生の新刊図書 / 本学教員の新刊

在学生・教員の活躍

新島襄の旅した風景 南九州編 ----- 8

OP COMMENTARY ----- 13

文化情報学部専任講師 福田智子

「ほととぎす」と「きりぎりす」~ 古典和歌の表現に魅せられて ~

留学生の眼 ----- 17

一生やりたいことを貫く~ 韓国留学を通して得たもの ~

MY PURPOSE ----- 27

特別指定選手、そしてJリーグの舞台へ~ サッカーと学問の両立 ~

田中淳也さん(文学部社会学科社会学専攻4年次生)

卒業生の活躍



INTERVIEW ~同志社人訪問~ ----- 14

ハウス オブ シセイドウ

主任学芸員 池田 香さんに聞く

MY JOB, MY LIFE ~シリ-ズ私と「仕事」~ ----- 23

・田辺 嗣朗さん(1992年経済学部卒業)

・高松 篤子さん(1994年工学部電子工学科卒業)

ANNOUNCEMENT ----- 25

特集 フィールドワーク

書を持って街に出よう

教室や研究室の外に出て、調査・研究を行うフィールドワーク。社会学や文化人類学、地質学、生物学などの分野ではよく用いられる手法で、同志社大学でもフィールドワークを行う科目やゼミが増えている。そこで今回は、フィールドワークを積極的に活用する科目やゼミに密着。教員はフィールドワークにどのような効果を期待し、そして学生は何を学び取るのか。大学のキャンパスを飛び出し、街へと広がる学びの場をレポートする。

写真左から、伊藤瞳さん、後藤美緒子さん、小山夏実さん、千田さん、谷口信生さん、小寺和久さん



老舗への聞き取り調査で「京都らしさ」の要因を探る

経済学部卒業研究
地域研究の課題と方法
〜地域比較と一般化〜



西村 卓 教授

なぜ私たちは京都の街に「京都らしさ」を感じる事ができるのか。それを解くかぎはいろいろ考えられるだろうが、「1つ1つは街に住み、街で働く人々の幾重にも重なり合ったネットワークが、今なお息づいているからではないだろうか。西村卓教授のゼミではその立場から、京都の伝統文化を支える老舗商店や旅館などで聞き取り調査を行い、そのネットワークを描き出すことにより、「京都らしさ」の正体を近づけていく。

谷口信生さん、後藤美緒子さん、伊藤瞳さんたちのグループが調査先として選んだのは日本で唯一残る京唐紙の版元、「唐長」だ。唐長は1624年に創業。文様を彫刻し



「唐長 両替町」十一代目当主夫人 千田 郁子さん

た版木に絵の具をつけ、和紙をあてて文様を写し取ったものを唐紙と呼ぶ。桂離宮や御所のふすま、壁紙に使われる伝統工芸品だ。伝統と技術を守り続けている唐長は、左京区修学院の工房の他に、「一般家庭向けのインテリアサロン」や、「オーダー便箋、小物などのショップ」を開店し、新しい事業展開に乗り出した。小寺さんらのグループはこの点に注目し、伝統工芸の老舗がめざす方向性について調査を進めている。

千田さんは、戦禍を何度も乗り越え、今も650枚以上残る版木が、唐長にとってもそれほど重要な財産なのかを伝えていきます。「と話し、身の回りのふとしたところにも美しさを感じるものが重要だとも話しているという。そして、「ゆとりとした気持ちで手仕事の良さに触れてもらいたくて」とサロンを開店した理由を説明。「伝統工芸は、作り手があつてこそ。でも、作り手とそれを伝える人との両方があつて初めて残るものだと思います」と千田さんの話に、小寺さ

んたちは熱心にメモを取っていた。

「美術を学ぶ学生さんが話を聞きに来てくれたことはありましたが、まさか経済学部が学生さんが来てくれるとは思っていませんでした」と笑う千田さん。去年、西村ゼミの学生さんが同志社E・V・Eでネギ焼きの屋台を出店する時、作り方を教えました。食材のつひとつ、水にまぎこたわった自信作でまわりの店より少し高い値段設定でし



たが、決して値引きをせず、良いものを納得して買ってもらった実践されていきました。私たちは、学生さんの心意気に感動し、その気持ちを教えてもらったように思います」と話す。

小寺さんは聞き取りに来ると、いつも時間を忘れて話し込んでしまいます」と笑顔で語る。フィールドワークを通して、人間的なつながりが芽生えている様子が見てとれる。

「フィールドワークは見ると簡単なことのようにですが、実は経済学をより立体的に解釈するために必要な学問的営みという面があります」と語る西村教授。「単にデータを集めるのではなく、そのデータを理論立てて文章化し、何が京都らしさの要因になっているのかのようなネットワークの上になり立っているかについて、自分なりの結論を導き出して欲しい」と、西村教授は学生に期待を寄せている。

経営者へのインタビューを通して、企業の最新動向を分析する

商学部演習Ⅰ・Ⅱ 企業ネットワーク論

企業ネットワーク論を研究する太田進一ゼミ。3年次生は、6班に分かれて、少子高齢化社会と中小企業、「中小企業の経営革新」、創業あるいは第二創業と資金調達」という3つのテーマに取り組んでいる。研究の成果は、9月に慶應義塾大学・青山学院大学との合同ゼミで発表され、その後、財団法人電気普及財団主催の「テレコム社会科学学生賞」および商工総合研究所主催の「中小企業懸賞論文」への応募に向けて練り上げられる。昨年度は、「テレコム社会科学学生賞」で入賞、中小企業懸賞論文」で準賞を受賞という実績がある。

6つの班のうち、第3班と第4班は、中小企業の経営革新」を研究している。第3班は、IT化に成功したクリーニング会社の調査にあたった。まずはインターネットを使って、中小企業とIT化」というキーワードを検索、目にとまったのが、宇治市に本社を置くクリー



太田進一教授



3班左から、國友鉄平さん、加藤洋子さん、大家俊徳さん、平澤友紀さん、宋基史さん

ニング店だった。リーダーの平澤友紀さんは、クリーニング業はクレイム産業だと言われています。そこでその店は、客から衣類を預かった時点で、汚れたなどの状態を病院のカルテのように詳しく正確に把握し、客と情報を共有する。e-電子カルテ」、そして店に預けた衣類の保管状況をインター



4班左から、高岡優さん、吉田圭佑さん、松本翔太さん

ネットを介して自宅から確認できる「ネットクロック」というサービスを導入しています。本来は地域密着型の産業であるクリーニング店が全国規模の顧客を獲得するに至ったプロセスをイ

一方、第4班は、異業種交流グループ「ロダン21」（東大阪市）と「京都試作ネット」（京都市）の2団体を研究対象に選んだ。ロダン21は、製造業を中心に、企画・設計・デザインなどの異業種が集まった企業グループ。15社の基幹企業のもとに約80社の中小企業が参加し、基幹企業が「ディネーター」となると受注を振り分けるしくみになっている。高岡優さんは、中小企業にはこんなにも熱意を持った経営者の方がおられるのかと驚きました」と調査時を振り返り、「各分野で世界的なシェアを有する企業が多く、企業自体に体力があるから成功したのではないだろうか」と分析する。また、京都試作ネットは、京都の機械金属産業など12社が集まり、完成品や部品の原寸大および縮小のモデルである試作や製造システムを受注する集団だ。もともと10社で運営していたが、新しく2社が2004年7月と8月に加わった。第4班は、そのうちの1社にインタビューを行った。松本翔太さんは、グループの理念は、利益だけでなく地域貢献を図ることにあります。試作ネットに参加を望む企業は多いのですが、理念に

インタビューし、論文にまとめています」と語る。

フィールドワーク ～書を持って街に出よう!～



賛同する企業でないと思われられないそうです。業種は増やしたいものの、理念が損なわれるのは困るそうです」と、異業種交流集団の難しさを語る。

どの班も、インターネットの約束を取り付けるまでが大変だったようだ。突然メールを送りつけて注意を受けてしまったことや、伝達がうまくいかずに経営者と会えないまま終わってしまったという失敗もあったという。しかしこうした経験もフィールドワークの成果の一つだと語る太田教授。「社会のルールが分かること、そして理論ばかりで頭でかちになることなく、世の中の動きを感じ取れること。フィールドワークには、さまざまな効果があるのです」と結んだ。

滞日外国人支援ボランティア体験をもとに、 交流イベントを企画する

文学部特殊演習2・3

「コミュニティのエンパワメントと

NGOにおけるプログラム開発

～滞日外国人支援プログラム～

「キッチンが狭くはないだろうか?」「駐車場の手配は誰が担当する?」「保健所への申請手続きは?」「経費を抑えて広報したい」。活発な意見交換が行われるこのクラスのテーマは、「コミュニティのエンパワメントとNGOにおけるプログラム開発」。

この日は、約1カ月後に迫ったイベント「フィエスタ」世界の文化祭」に向けての段取りや担当者確認などが行われていた。文学部特殊演習2・3クラスの受講生で運営される年に1度のイベントだ。

春学期の開講当初からその準備は始まっていた。受講生はまず、学外のボランティア団体の活動に参加する。女性の自立や教育、平和問題に取り組むNGO組織「京都YWCA」滞日外国人の交流拠点でもある「バザールカフェ」、そして京都在住のフィリピン人「コミュニティ・PAGASA」の3団体が主な協



Martha MENSENDIEK 助教授

きた。「ボランティア活動や聞き取り調査を通して、滞日外国人が求めることが分かってきました。彼らは、孤独になることが不安なのです。そこで、僕たちに何ができるかを話し合った結果、彼ら同士、彼らと僕たち、そして地域住民との間に『つながり』を作ることが重要だと考えました」と語る。授業では、民族料理屋台、伝統舞踊、演劇、音楽ライブなど、「つながり」を実現するための企画が次々に発案された。企画に賛同し、イベントに参加する外国人コミュニティは12団体にも及び、「人は笑顔になれば、誰とでも仲良くなれるはずですよ。だから、まずは参加者に楽しんでもらいたい。そのためのお祭りです。さらに、ただ楽しんで終わるのではなく、出し物には、その文化の背景について解説を加え、異文化理解を深める手がかりにするつもりです」。国際交流サークルでのボランティア活動と平行して、この科目を履修している牧野宏美さん

波多野一輝さん



牧野宏美さん

力団体だ。それぞれが体験した成果を教室に持ち帰り、議論が展開される。イベントのリーダーの1人、波多野一輝さんは、文学部社会科学科社会学専攻2年次生（中学生の頃から、根本とする子講師が代表を務めるバザールカフェの活動に携わって

「女政策学部政策学科2年次生）は、相手のためになるだけでなく、自分たちにとっても多くの発見が得られると思います」と語る。

Martha MENSENDIEK 助教授は、この科目のねらいは、日本には外国人「コミュニ

ティーが存在し、社会の大切な一員であるという事実を認識してもらおう」とです。将来、NGOで活躍したいという学生も多く受講していますが、その際に、「ここでの経験は大きな自信になります。また、一般的に日本の学生はコミュニケーションが苦手。しかし、社会と接点を持ち、さまざまな団



体と関わりを持つ中で身につけたコミュニケーション能力は、どんな仕事においてもプラスに働くことであろう」と期待する。「もちろんこの一年間の授業だけで終わるのではなく、社会との接点を持ち続けて、ボランティア活動にも積極的に参加してほしい」。

企業法務の現場に入り、 法運用の実際を体験する

法学部リーガルフィールドワーク



佐藤 鉄男 教授



土田 道夫 教授

ク処理がなされていること、などをまとめた。

一方、北嶋さんは、海外連結会社のガバナンス体制の検討」をテーマに、まずアメリカ、ドイツ、中国、タイの会社機構を比較した。その上で、松下電工の100%子会社であるパナソニック電子ヨーロッパのガバナンス体制がうまく機能しているかを考察。松下電工には、国内外の連結子会社に取締役として出向する従業員は経営判断に際して親会社である松下電工の事前承諾を得なければならぬ」とする事前協議制度があることに着目したが、もし現地取締役が暴走した場合に、制度上の限界があると指摘し、取締役の任期見直しや代表権を日本人に持たせるなどの対応策を提言した。

2人の発表後には、佐藤鉄男教授、土田道夫教授から講評が加えられた。研修の成果は論文としてまとめられる。大賀さんは

夏期休暇中に2〜4週間、企業の法務関連部門で実地研修と現地調査を行い、その成果を秋学期の授業で発表する。法学部のフィールドワークは、単なる実務・就業体験にとどまらず、生きた法律の現場で課題に取り組みといういわば新型のインターンシップ。文部科学省による平成17年度の「現代的教育IT取組支援プログラム」にも採択された。

この日、報告を行ったのは大賀麻里絵さんと大学院法学研究科私法学専攻(前期課程)1年次生(と北嶋直樹さん)同1年次生。大賀さんは三洋電機株式会社法務本部リーガルユニットおよび電子デバイスカンパニーで、北嶋さんは松下電工株式会社法務部海外・事業契約グループでそれぞれ研修を終えた。

大賀さんの研修テーマは、製造物責任に

おける企業のリスクマネジメント」。製造物責任法によって製品から生じた損害の責任を負う範囲が広がったこと、どのような対応策がとられているかを調査した。事前対策として品質規定をマニュアル化した上で適切な警告表示や販売方法をとること、契約条項を審査する際は自社が売主か買主かで緻密な検討がなされていることがわかった。そして事後対策としては、各部門が連携して欠陥不存在の立証にあたるが、和解をめざす場合がほとんどであること、また損失填補対策としてはPL保険の他に新しいリス



「法務の仕事では、法律知識はあくまで基本で、そこに応用力、緻密さが求められることを実感しました」と話す。また北嶋さんは、漠然としていた法務の仕事に、具体的なイメージを持つことができました」と、充実した期間を過ごしたようだ。同2年次生の先輩たちも、昨年度のリーガルフィールドワークを振り返る。杉本純子さんは、机上の学問と実務との違いを

フィールドワーク ～ 書を持って街に出よう! ～



北嶋直樹さん

大賀麻里絵さん



左から、杉本純子さん、池畑江美さん、小竹美妃さん

した学生が、目の色を変えて取り組む姿勢に頼もしさを感じている。今年度の受け入れ企業は8社。来年はさらに増え、学部生の受け入れも可能となる予定で、企業側の期待も大きいことがうかがえる。

感しました。論文を執筆する時にもこの経験は活かされるはず。小竹美妃さんは、法をいかに運用するかという新しい視点を持つことができました。池畑江美さんは、楽しかった一言。就職活動の際、法務を志望する理由に説得力ができました。佐藤鉄男教授によると、企業が法学部出身者に何を期待しているのかわかることでポイントを絞って法を学ぶことができるという。土田道夫教授も、実践の場を経験

学びの場は広がる!

フィールドワークを行う科目は、社会学部(2004年度生以前は文学部社会学科)に多く設置されている。また、演習ゼミでも、学部・大学院ともに担当者の多くがフィールドワークを取り入れている。

社会学部科目

(2004年度生以前の文学部社会学科)

- 社会学部 社会調査入門
- 社会学部 エリアスタディ 概論
- 社会学部 質的調査法(社会調査論)
- 社会学部 社会人類学
- 社会学部 地域社会学
- 社会学部 国際社会学
- 社会学部 社会調査実習
- 社会学部 社会福祉実習Ⅰ～Ⅱ
- 社会学部 精神保健福祉援助実習
- 社会学部 社会問題実習
- 社会学部 国際社会福祉実習
- 社会学部 産業調査実習
- 社会学部 産業関係実習

など

文学部の他専攻や他学部生も履修できる科目があるので、興味のある人は履修要項・シラバスを参照のこと。

他にもこんな科目・ゼミがフィールドワークを行っている

- 文学部 プロジェクト科目
 - 特殊演習1 現代演劇研究(劇団四季)
 - 特殊演習4 能を感じる・育てる・伝える
 - 特殊演習7 都市ホストンの研究環境問題を考える
 - 美学・芸術学実地演習
 - 考古学実習
- 経済学部 サブプロジェクト演習
 - 特区と集積を検証する(西岡ゼミ)
- 商学部 ビジネス・トレーニング
 - アカデミックリテラシー
 - 交通論演習(青木ゼミ)
- 政策学部 フィールドリサーチプログラム
- 自然科学系科目
 - 自然科学実験法・同実習F
 - 生命の科学 里山の自然を調べてみよう
 - 生命の科学 生態学から文明を考える
 - 生物学概論
- 神学研究科
 - 実践神学研究演習(臨床牧会訓練)
 - 神教学際研究実習3
 - (マレーシアにおける異文化研修)
 - 神教学際研究実習4
 - (イスラエルにおける異文化研修)
 - 神教学際研究実習3
 - (シリアにおける異文化研修)
- アメリカ研究科 フィールドワーク
- 司法研究科 エラスターシオン

など

TOPICS

「七五三太」プロジェクト



「七五三太」プロジェクトは教員・大学院生・4年次生による、伏見日本酒クラスター研究会(代表:藤本昌代)と社会学科3年次生対象科目「社会調査実習」(担当:河口充勇)が合同で行った伏見の酒蔵を中心とした産業連関調査の中から生まれた。この調査は、酒造業を取り巻く関連産業のネットワークや、伝統を守りつつ社会環境の変化に柔軟に変化し続ける企業体としての酒蔵の調査で、伏見酒造組合の21の蔵元から多大な協力を得た。学生たちは、学びを深めるうえで、日本酒の本当の美味しさその魅力を知り、お世話になった蔵元の方々への感謝を込めて、創立者・新島襄の幼名を冠した大吟醸純米酒「七五三太」を企画考案した。

【お問い合わせ先】

社会学部助教 藤本昌代

E-mail: mfujirot@mail.doshisha.ac.jp

「七五三太」プロジェクト紹介サイト

http://www1.doshisha.ac.jp/mfujirot/shimeta.htm

総括

感謝・感動・気づきの

フィールドワーク

同志社大学の今出川校地は京都の東西南北、どの地域へも移動しやすい地の利があります。これまでも京都の地域・伝統文化に関する調査からハイテク産業に関する調査まで、多くの皆さまにご協力いただけてきました。もちろん京都に限らず広い範囲で海外への調査実習を行う先生も

たこと、考えてもみなかったことを知り、その感動に頬を紅潮させて大学へ戻ってきたこと、

この調査目的のために割っていただくという尊敬の念をもって「コミュニケーション」に当たるといふことです。就職活動をまだ経験していない学生は、悪気はないのですが人の時間をいただくことへの感謝の気持ちの表現を知らないことが多いのです。そこで、挨拶状、アポイントメント、先方での挨拶、本題前の導入、インフォーマントを取り巻く環境の観察、面接練習など、事前トレーニングが大変重要となります。そして実習に入りますと、拙いながら一生懸命取り組む学生に対して多くの時間・情報をご提供

ありますし、本学のフィールドワークは京都地域限定型ではありません。京都の街中に入り込み、人々の生活に共感しながらその社会を感じとる日常的なフィールドワークは、京都の街中にある大学ならではのことでと思います。各調査に共通することは地域の方々に多くのお時間をいただくことであり、学生がそこからたくさんのごとを学ばせていただくことだと思います。事前に調査対象の勉強をしてフィールドに出ますが、学生では想定できなかったことや資料に書かれていないことを地域の方々から教示いただくことも多々あります。そのたびに学生たちはこれまで気づけなかつ

フィールドワーク調査の手法で、最もよく用いられるのが聞き取り調査法です。インフォーマント(情報提供者)に面接をお願いし、文献等では見えてこなかった地域での文化やその社会で共有されている事柄の意味などについてお話しいただき、そこで語られた言葉の中から人々の営みや関係性を抽出する作業を行います。聞き取り調査は興味深い話が聞けますが、それを整理する技術は大変高度なものが必要となりますので、統計的手法とはまた別の意味での難しさがあります。学生は分析するためにサポートを受けながら、多くの発見をしつつ成長していきます。フィールドワーク調査で重要なのは、インフォーマントとのラポール(良好な人間関係)の形成です。私たちが学生に指導する重要なポイントは、インフォーマントの貴重な時間を自分た

ちの調査目的のために割っていただくという感謝の気持ち、教えていただくという尊敬の念をもって「コミュニケーション」に当たるといふことです。就職活動をまだ経験していない学生は、悪気はないのですが人の時間をいただくことへの感謝の気持ちの表現を知らないことが多いのです。そこで、挨拶状、アポイントメント、先方での挨拶、本題前の導入、インフォーマントを取り巻く環境の観察、面接練習など、事前トレーニングが大変重要となります。そして実習に入りますと、拙いながら一生懸命取り組む学生に対して多くの時間・情報をご提供



社会学部助教授

藤本 昌代

Masayo Fujimoto

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻博士(後期課程)修了。博士(社会学)。専門は、組織社会学。社会調査入門、情報社会学等の科目を担当。著書に『専門職の転職構造—組織準拠性と移動—』がある。

新島襄の旅した風景

知られざる日向・鹿児島への出張

南九州編

文と写真 本井康博

最初の九州訪問

初めての九州訪問は、思わぬ形で舞い込んできた。1879年、城ヶ崎（現宮崎）の開業医、林武（現宮崎）から伝道者派遣要請が来た。

林は横浜で長老派の医療宣教師、J・C・ハボンから医学を学んだ際、キリスト教の感化を受けて入信した。日向帰省後、林の周辺には求道者が次々と現れ、洗礼志望者が30余人を数えるに至った。小崎弘道によれば、林は当時、同志社系の神戸教会の「二員」であったという。そこで林は神戸のアメリカンボード宣教師、O・H・ギョリックに書を送って来援を要請した。神戸の宣教師たちには余裕がなかった。そこでこの要請には宣教師でもある新島が応えた。ちょうど同志社英学校は最初の卒業生（しかも全員神学生）15人を出すところであった。いわゆる「熊本バンド」である。新島はさっそくそのひとり、小崎弘道を同伴して、卒業式の1週間後（6月19日）に神戸から宮崎に向かった。

この対応は極めて素早い。おりしもアメリカン・ボードから特別寄付として2000ドルが同志社に来たことが幸いした。ところが、この九州出張に関しては新島も小崎も断片的にしか記録していないので、不透明な部分が多い。

宮崎

ふたりは神戸港を6月19日に発った。海上、陸上とも難波し、宮崎へは神戸出港からなんと9日を要した。蒸気船、和船歩行、乗馬、そして籠を利用しての旅で、佐賀関、鯛名延岡（美々津、都濃）、泊、高鍋、広瀬と進んだ。最後、土々呂（宮崎）から宮崎への道路はことに酷く、「馬足二尺余」の泥濘（ぬまみ）である。

林が住む城ヶ崎は、大淀川河口南岸の港町で、隆盛を誇る豪商主体の色街でもあった。ここを拠点に新島らは早速伝道に着手したが、次第に聴衆が減っていく。林から聞かされていたキリスト教とは違



クラーク通り脇に立つC・A・クラーク像(宮崎市)



現在の城ヶ崎。左は市内を貫流する大淀川(宮崎市)

された小崎の日向滞在もそう長くはなかった。けれども、彼はこの時の成果として宮崎教会や高鍋教会の設立を挙げている。が、やや我田引水である。

実際にはアメリカンボードの支援が不可欠であった。とりわけ1891年に熊本から日向に転任した宣教師C・A・クラークの働きが大きい。宮崎教会の前の道路は今、クラーク通りと呼ばれているほどである。高鍋の場合はほかに石井の協力も忘れられない。

鹿児島

うというのである。そこへ林の長崎転出である。おまけに商人への伝道は効果が挙がらない。一方、新設(1879年設立)の宮崎病院と附設医学所の医師と学生たちの反応はよかった。

医師の手裏で小崎は高鍋に転じた。この旧士族たちからは好感触が得られた。小崎を誘った医師は高鍋出身の萩原百平であろう。萩原は、「岡山孤児院」を開いた石井十次(高鍋藩士の子)を信仰に導く切っ掛けを作った人物である。

一方、新島は小崎と別れ、都城みやこから福山(一泊)を経て船で鹿児島に向かった。残

さて、新島の鹿児島出張であるが、訪問はこれ1回切りである。詳細は間の中だが、かろうじて日誌に「Hotel」と記す(らしき名が出る。「汐見丁 野口 家」、「石ツ口通 山下十郎」とある。汐見丁は今の住吉町から泉町の辺りで、埋立てのため往時の面影はない。いづろ通りも今はナポリ通りと改称されている。地名の起りりとなつた石灯籠いすずろうが通りの傍に立っている。浜際のこの辺りは、おそらく

当時も賑やかであったことであろう。いずれにせよ新島の鹿児島滞在は、行方不明の状態である。京都(同志社)からは再三、電報が来た。日誌に電報料が2、3度記載されているので、新島も電報で応酬した。急いで京都に戻れ、との電文である。結局、新島は不本意ながら中途で急ぎよ帰宅せざるをえなかった。

その帰路も判明しない。往路と同じか。京都への帰宅は7月21日で、優に1カ月を超える長期出張であった。

そもそも新島は、なぜ小崎を宮崎に残して鹿児島に赴いたのか。当時、鹿児島はようやく教会がふたつ(今の鹿児島教会と鹿児島加治屋町教会)、それも他教派(アメリカ・メソジスト監督教会ならび

にアメリカ・オランダ改革派)の教会が生まれたところで、組合教会(同志社系)の空白地帯であった。

従来、鹿児島のプロテスタント伝道は長崎が源流、というのが定説であった。しかし、実は関西(神戸と京都)ルートも早い。すなわち、鹿児島開教(1878年である)には同志社系の組合教会信徒が介在する。したがって、開教翌年の新島の南国入りには、「失地回復」の意図が籠められていたことであろう。良い感触を得ていたのか、新島としては自分を呼び返す電報にすぐには従う気持ちはなかったであろう。なにしろ今度はいつ来るかであるのか、定かではない遠隔地のことである。



鹿児島市ナポリ通りに立つ石灯籠

薩摩藩留學生

伝道以外では、この地で新島は何を思ったか。もちろん当地は、7年前にアメリカで世話になった森有礼^{ありのり}や、2年前の西南戦争で戦死した西郷隆盛の出身地である。西郷隆盛の記念碑ほど著名ではないが、春日神社の横に森の生誕記念碑が立つ。

森と新島は、ほぼ同時に密出国し、欧米留学した体験をも共有した仲で、新島は今回の旅行直前にも京都からある件で依頼状を送付したばかりであった。森たちがイギリスに向かって船出した羽島^{はし}(串木野市)は、新島が密航した函館とは比較にならないくらい小さい漁村であった。羽島の



森有礼らが密出国して渡英した羽島(串木野市)



鹿児島中央駅前に立つ「若き薩摩の群像」中の森有礼

現場に立つ記念碑は今もぼつねんと孤立している。

碑といえば、新幹線開業ブームで沸く鹿児島中央駅の駅前広場には、若き薩摩の群像」という巨大なモニュメントが聳え立。維新の改革に大きな力を振るった西郷隆盛や大久保利通に続く世代の「群像」である。この中には森(片手に本、片手にペンを持つ立像)と同時に留学した寺島宗則(シルクハットを膝に置いて腰掛ける)の姿も混じる。九州出張の前年、新島は寺島(外務卿)に宣教師雇用許可の要請を行っている。さらさらこれより

数年後に、新島はこの寺島と実際に面談している。けれども、長州人士に比べれば、寺島を始め薩摩のVIPは概して自分や同志社に非協力的である、と新島は慨嘆している。



森有礼誕生地の碑(鹿児島市)

なお、九州に関して付言すべきはこれまで紹介した2度の出張の他に長崎寄港が1度ある。1884年4月8日のことで、2度目の欧米旅行に向かう途上であった。新島は朝食後ただちに上陸し、午後2時に出港するまでの約4時間、「船子」をガイド(料金はたったの30銭)に立てて、甲店(今奥町の江崎栄蔵の店を覗くなど市内見物をしたり、散髪や入浴までした。町の印象は、市街々々タリ)であった。なぜかカトリックの会堂の印象は何も記さない。

永眠1年前(1889年2月3日)、柳川の風斗実と森信夫に宛てて、健康ならば「是非九州地方遊歴ヲ試度候」と書き送ったものの、これが最後の九州訪問であった。以後、1890年の死去まで新島には九州を訪問する機会が訪れることはなかった。

(神学部教授)

長崎

来年度就職をめざす皆さんへ

豊かな人生のために 充実した学生生活を

就職を取り巻く状況

2005年4月採用の就職状況は、就職率が前年度に比べ0.8ポイントアップの97.9%となり、好調だった2004年3月採用をさらに上回る就職状況となりました。2006年4月採用(現4年次生)の就職状況でも、引き続き好調に推移し、10月1日時点での報告ベースの内定状況では、昨年より10ポイント程度就職率がアップしています。

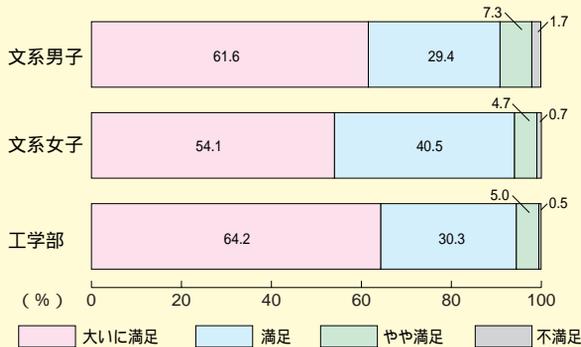
2006年4月採用の就職活動は、2003年10月に発表された、日本経団連の「学生が本分である学業に専念する十分な時間を確保するため、採用選考活動の早期開始は自粛する。まして卒業学年に達しない学生に対して、面接などの実質的な選考活動を行うことは厳に慎む」という倫理憲章の2年目の年となり、昨年以上を回る793社の企業が賛意を表明し

ました。その結果、昨年よりさらに、各界の採用活動が同時期に集中する「短期決戦型」となり、学生、企業ともに厳しいスケジュールの中で、意思決定を強いられる結果となりました。また、今後の少子化の進展や団塊世代の大量定年に対応するため、各企業の採用意欲は本格的に回復しましたが、ただ数を求めるのではなく、優秀な人材のみを数多く採用したいという「質」を重視する厳選採用の中での「量」の確保を求めた採用活動を行っています。その結果として、採用レベルを越えた学生には、複数の企業からの内定が集中する反面、就職活動初期の段階で自分をうまく表現できなかった学生や就職に対する意識醸成の遅れた学生には立ち直る機会のないまま最初のヒュークが過ぎ、就職活動が長期化するという2極分化がますます進行しています。

一方、採用側では、優秀な学生の取り合いの中で、当初の採用予定人数を取りきれなかった企業や重複内定を持っていた学生

の内定辞退などのため、2次募集・秋採用を実施する企業が増加しました。しかし、これらの企業でも、一定のレベルを設けた厳選採用を行い、その線に達していない学生を無理に採用することはしていません。

就職決定先の満足度



法律 女 観光とくく最初は何んな業界を見ることが。最初にイメージや興味の有無で業界を絞ると後になって後悔します。興味が無くても自分に合っていたら後から興味が出てくることもあるので、せめて多くの業界を知ってください。 教育 女 学芸部 積極的に行ったりして説明会に参加することを勧めます。多くの企業を知ることは視野も広がり、自分の適性を見直すことができます。2月くらいからエントリーシートで忙しくなるので、5月1日対策などは年内に本冊くをやるであらうという思いです。特に数学が苦手な人は、文化庁 女 小売 会社説明会ではシートを持って行き、必要ならシートはメモしてください。後々面接や他社比較等でも役に立つと思います。面接は履歴書の内容からの質問を受けることが多いので、自分の自信のある部分は、絶対に記載してください。 院 法 法 男 化学メーカー 自己分析とは自分の経験や価値観、志望動機を言語化するということです。私の場合、シートに自分がこれまでやってきたことをできるだけ多く書き出して、それその出来事、いつ、どこ、何を、なぜ、どのようにしたのか、を検証しました。 院 法 女 電機メーカー 就職活動中、やたらと行ったり迷ったりはやる行く(まよ)していました。そのやたら悔いを残さないようにすることが自分の支えになったと思います。自己PRも、やたらと大きな華やかさが大事ではなく、その時どき考えとのおまじない、何を学んだかという、自分のためのポイントが重要です。それがいつかたまたま自信を持ってアピールしたときに、それが男(土石製鋼メーカー)自信を持っていたのは自分にはない武器を見つけ、それを磨き続けることです。それをいかに論理的に(つまり)裏取り、裏持った持たせ(表現)できるかが勝負です。 院 法 法 男 金庫メーカー 面接は場数といいますが、ちゃんと方向性を持たないで、ただ漠然と数をこなしても良くはなりません。自分が話しているものを録音して聞いたり、それを友達に聞いてもらったりして、自分の悪いところを認識し、その後「活かす」と良い面接ができます。 法 男 政府系金融 言葉で表現し、相手からされた質問に的確に答えるための訓練が大変重要だと思います。新聞 男 入社 面接にテーマに関して最初から般論を述べず、自分の体験を踏まえながら、それを発展させて般論にする。作文の例です。 院 法 女 都市銀行 集団面接は声の入さるポイントです。小さい声(いい)を言ったりは、普通のことでも大きな声(八八八)話したほうが絶対いいです。 心理 女 都市銀行 元気な笑顔は好感度が非常に高くなります。元気ないね、体力なさそうだね、を言われた企業では、次の面接に進めません。体調管理はしっかりと行ってください。 教育 男 教育グループ はいきなり見ず知らずの人と協調して作業するのは難しいので、集合時間のかなり前に集合して、他のメンバーとLINEチャットを取っておきます。英文 女 運輸グループ マイ、自分のシフトは、司会・書記など、どの役割になるかは事前に気にせず、いかに楽しく入社雰囲気を作ることが大切なので、集中して面接に臨みます。私は沈黙にならないように話を切り出したり、時間内に意見がまとまるように努力しました。 文化史 女 講師 私は学生ポスターアを、実際に現場で生徒たちと触れ合っ(て)て、その経験をもとに、現場で働いておられる先生方と交流し、お

今年度就職活動をした
先輩からのメッセージ
(2005年度 就職に関するアンケートから)

企業の求める人材

日本が高度成長を続けていた時代、企業はメーカーであれば、欧米や国内の競合他社と同じような製品をつくることで十分に利益をあげられました。つまり、与えられたことを上手にこなすことができ、人材を求めていました。しかし、業界の垣根も国境も無い競争の中で、今はどの企業にもお手本はありません。自らが付加価値のある製品・サービスを提供できる企業しか生き残っていきなくなり、したがって、求める人材像も自分の頭で考え、自分で行動し、結果をだせる自立的に行動できる人。つまり、「新しい価値をつくる力」や、「何かを変える力」を持つ高いレベルの人材を求めています。

充実した学生生活を

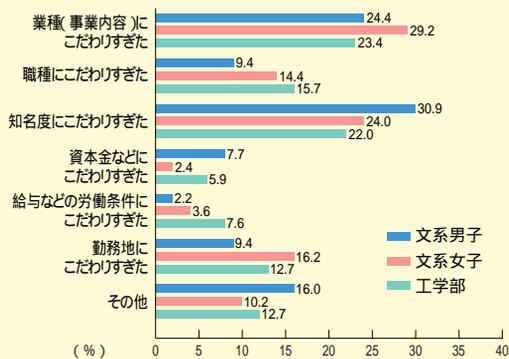
「このような社会のなかで、豊かな将来を築くためには、目標を持ち、問題意識を持ってチャレンジし、その経験の積み重ねや、ゼミでの勉強」などによる学問の積み上げによって、充実した学生生活を送り、自分自身を高めることが大切になります。すなわち、学生時代においてよく学びよく遊ぶなかで、「人間力」を蓄えることが重要とな

ります。この「人間力」とは、人を思いやる心、「コミュニケーション力」、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される、その人の人柄、人間的魅力です。

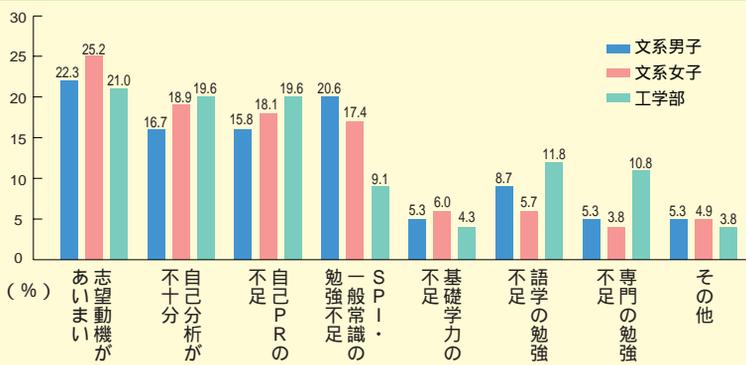
来年度就職をめざす皆さんへ

皆さんが、就職に期待するのは、「収入による自立」、「社会参加による貢献」、「能力を活かした自己実現」だと思えます。そのためには、まず、自分自身を知ること（自己理解）が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業、企業で発揮できるかを考えてください。そのためには、OB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切となります。そしてある程度、業界・企業研究ができたなら、次には自分のやりたい職業・働きたい企業を絞り込み、業務内容をよく調べ、自分はこの会社でどのように働きたいか」を話せるようにしておくことが大切です。採用担当者は、面接などのやりとりから熱意、「コミュニケーション能力」、問題意識、行動力を見て、「一緒に仕事をしたいか」を判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず発見できるはず。自分を信じて就職活動にチャレンジしてください。

応募先選択段階での反省点



面接・試験段階での反省点



話を聞くのも大変になりました。法男運輸活動中は様々な情報が入ります。中にはマイナス情報もありますが、それを信じるも信じないも、自分の判断です。その際には、HPやDMよりも、やはり生の声、雰囲気を感じることが大切だと思います。そのためにもOB・OG訪問は積極的に行ってください。商女機械メーカー選考に立て続けに落ちたり、あががなくなってきたり、と落ちたり落ち込んだりします。何が悪かったか考えることも大事ですが、自分はこれなんだと思つて頑張ることも必要です。経済、女、地方銀行落ちても、自分に合わないから落ちたんだ、不幸にならずにすんだと前向きに考え、切り替え上手になつて下さい。文化史男「人材」一緒に頑張る仲間がいれば、自分も頑張れると思います。このように、就職活動の中で、自分の悪いところも含めて、本音のことを言ってくれる仲間が大切になってくると思います。英文、女、信託銀行「熱意は話している内容ではなく態度に出ると思います。人事は話している内容ではなくその人の雰囲気や、考え、態度を見ています。私は思います。商男、リース就職活動のときは、規則正しい生活を、時間の大切さを感じたことは過去にありませんでした。この経験を通して精神的にも強くなれたし、まだまだ社会の仕組みを理解できていなかったことに気づかされました。院、政策、男公務員「予備校や、おちたの台格、アルに過度に頼りすぎず、もちろん参考になることは参考にして、自分であった戦略をたてた勉強法を確立することが合格への一番の近道だと思います。経済、男公務員「内定の時期が近いので、焦りやプレッシャーを感じます。大事なのは絶対公務員になるんだ、やりたい仕事をやるんだ、という強い意志と、そのモチベーションを維持するための長期プランの組み立てです。試験の範囲は多岐にわたります。計画的に進めることが大切です。法律、男公務員面接対策として、自己分析は間違いなく一番大切だと思います。ただそれだけでは、現在受験する全ての道府県・市町村が実施している政策や計画、抱えている問題などを「知っていることも大切です。広報、女、ヤブ、メ、シなどを活用するの1つ方法です。院、政策、男公務員「官庁訪問の最初に提出する面接カード次第、会社が決まるという過言もありません。人事の人は担当のカードを読み込んでいて、これを元に合否も判断します。丁寧かつ慎重に、そして相手を感じきつるように入力してください。英文、女、地方銀行「女性には特に転職・結婚・出産などについて不安がある人が多いと思います。福利厚生の制度があっても、実際機能していない企業もあります。しっかりと調べてください。商女、アルバイト活動が始まった頃は内定が欲しいとはばかり考えるものですが、数社から内定をもらって今度はどちらの企業にするのか自分で決めなければなりません。10年後の自分の姿が想像できるか、自分が楽しい仕事ができるかを考えるためには、やはり、自分を知らることが一番大切です。法女、百貨店「就職活動を続けていくことが重要で、自分で自分の素直な気持ちをはっきりと表現することがあります。そんな自分で内定をもらっても後悔するものは自分自身です。だからこそ素直にどんな社会にもなりたいのか、どんな業界でどんな仕事をしたいのか、考えてみてください。商女、建設「周囲の内定が出て、自分だけまだ内定が出ていないからといって、自分だけだなんだと思わないでください。まだ自分が相性の内定を出ていないだけかもしれません。前に進めます。一社だけならまだ社内、1つすすめるくらいの気持ちでいいと思います。就職活動に正解も不正解もありません。法女、旅行「就職活動に正解も不正解もありません。だから、一通りのサンプルではなく、自分らしいスタイルで就職活動を展開してください。そうすれば結果がでて、充実した就職活動になり、より大きく成長できるはずです。

「きりぎりす」の表現に魅せられて

～古典和歌の表現に魅せられて～

勝又浩氏引用する精神(筑摩書房)

2003年10月刊の中で、「百人一首」藤

原良経の歌

(イ)きりぎりす鳴くや霜夜のさむしさに

衣かたしきひとりかも寝む

の本歌は実は『古今集』の

(ロ)ほととぎす鳴くやさ月のあやめ草

あやめも知らぬ恋もするかな

ではないかと指摘されていた。なるほど、

従来指摘されている本歌、

(ハ)わが恋ふる妹は違はさす玉の浦に

「ころも片敷き独りかも寝む

(ニ)さむしさに衣かたしき「(イ)ひとり

我を待しむ宇治の橋姫

あるいは

(ホ)あしひきの山鳥の尾のしだり尾の

ながながし夜をひとりかも寝む

を下敷きとするというだけなら、「何の展

開も飛躍も、転用によるどんな意外性も

発見もない」。それを、「鳴くやさ月のあや

め草」の「変奏」と捉えれば、「それはなが

なか大胆なこの時代にあつて十分人々を

驚かすに足る一首となる」(以上、前掲書)

という。そして、「ほととぎす」歌をもとに

「きりぎりす」歌が作られた例として、

(ク)ほととぎすいたくなく鳴きそ独り居て

寝の寝のえぬに聞けば苦しも

(坂上郎女)

(ト)きりぎりすいたくなくさそ秋の夜の

ながきおもひは我そまされる

(藤原忠房)

が挙げられている。目からウロコの指摘で

ある。

これまで(イ)の本歌として列挙されて

きた歌は、「ころも片敷き独りかも寝む」

(ハ)、「さむしさに衣かたしき」(ニ)、「ひと

りかも寝む」(ホ)と同じように、1～2句

分文字数でいえば、14文字がそのまま

採り入れられており、(イ)の歌からこれら

の歌を即座に検索あるいは想起すること

は、古典和歌にそこそこ慣れ親しんだ人

ならば、そう難しいことではない。

一方、(ロ)の場合は、いささか厄介だ。共

通文字列といえは、「なくや」くらいしかな

いのだから、その点、類似度としては先の

(ハ)～(ホ)の用例に比して、格段に低いと

いえるだろう。けれどもそれは(ロ)の指

摘の重要性が低いということを意味しな

い。むしろ「見気つきにくい表現授受の関

係を見出すことが「ロ」では重要なのだ。

もっとも(イ)「きりぎりす」と(ロ)「ほ

ととぎす」をローマ字に置き換えると、さ

らに意外な類似点が浮上する。

(イ) [kirigirisu]

(ロ) [hototogisu]

すなわち、語末「isu」も、実は共通点に加

えることができるのである。さらに、語頭が

ら「三」続けて母音が同じ(イ)では「三」(ロ)

では「o」とじた点も見逃せない。

そもそも、「ほととぎす」は夏を告げる

鳥、「きりぎりす」は秋の虫である。季節は

異なるが、両者に共通するのは、夜に鳴く

と「つゆ」だから、「ほととぎす」歌から、き

りぎりす」歌を作ると、夏の短夜から秋の

夜長へとシフトして、「鳴く」泣く、「時間

もそれだけ長く、嘆きは深くなるのだ。

古典和歌は、ひととおりの意味がわか

ればそれでよい、というものではない。表現

に込められた今となつては容易に気がつか

ない工夫を、誰よりも早く発見し、その瞬

間の感動を味わいたい。そういう野望(？)

をもった文化情報学部(の学生たちは、今

日も共同研究室のパソコンに向かい、古典

和歌の世界に分け入ろうと悪戦苦闘して

いる。



文化情報学部専任講師

福田 智子

Tomoko Fukuda

福岡女子大学文学部国文科卒業。
九州大学大学院文学研究科修士
課程(国語学・国文学)修了。同博
士後期課程単位取得満期退学。博
士(文学)。九州大学大学院人文科
学研究院助手を経て、2005年4月か
ら現職。専門は平安朝の和歌文学。

ハウスオブシセイドウ 主任学芸員

池田 香さんに聞く

インタビュー 増田 知恵さん(文学部文化学科美学及芸術学専攻2年次生)



増田 学生時代からアートに興味を持っていたのですか。

池田 もともと、絵を描くのは好きでした。自分自身がアーティストになりたかった時期もありましたが、父からは「才能がないから無理だ」と指摘されました。確かに美術館やギャラリー巡りをしていると、自分とは比較にならないアーティストの才能を感じます。でも、彼らが作った「こちそう」を、美味しそうにお皿に並べることが出来るかもしれないと思い、学芸員の仕事をめざすことにしました。3年次生も終わる頃、当時大阪にあったナビオ美術館の監視員のアルバイトに応募しました。たった1人の募集枠に応募した学生が250人ほどもいて、この業界の仕事の人気の高さを実感しました。運良く採用され、4年次の始めからは監視員以外の仕事を手伝わせてもらえるようになりました。最終的にはカタログやポスターの制作やSNSへの売り込み、会場の照明など、アシスタントの仕事は私がほとんど請け負っていました。

増田 とてもお忙しかったのではないですか

池田 そうですね。仕事の流れやノウハウを覚えることができたのは良かったのですがこのまま忙しさに流されてしまうことに不安も感じました。4年次には一般企業への就職活動を始め、いくつかの企業から内定をいただきました。少し迷っていた時期だったので、でもやはり「本当にやりたいことは学芸員だたはず」と思い直し、ナビオ美術館のアシスタントキュレーターとして就職しました。

増田 「自身で展覧会そのものを企画することはなかったのですか。」

池田 ナビオ美術館時代には、ほとんど

池田 香さん

【1987年経済学部卒業】

京都市生まれ。在学中に博物館学芸員資格を取得。ナビオ美術館、三条祇園画廊を経て、神戸ファッション美術館の開設に参加。2005年2月から東京・銀座のハウス オブ シセイドウに勤務し、主任学芸員に。同館では、12月7日から2006年1月29日まで、「永遠なる薔薇 石内都の写真と共に」を開催。

<http://www.shiseido.co.jp/house-of-shiseido/>



なかつたです。ある展覧会で、京都の三条祇園画廊から所蔵品をお借りしたことがあり、それが縁でそちらに移るようになりました。展覧会を企画・制作し、美術館や新聞社などに持ち込むファッションに配属になりました。企画のノウハウは、ここで勉強することができました。1年後、以前から声を掛けていただいていた神戸ファッション美術館建設準備室に移りました。大学在学中、財団法人京都服飾文化研究財団(KCFI)で学芸員資格取得の研修を受けたこともあり、服飾文化に興味を持っていたのです。私がより本格的に展覧会を組み立てるようになったのは、これ以降です。

増田 建設準備室ではどのような仕事を担当されたのですか。

池田 もともと、神戸ファッション美術館は、古今東西の衣装を展示する美術館になる計画でした。私は、18・19世紀の西洋衣装と20世紀のオートクチュールの収集を担当していました。コレクターのもとを訪ねたり、買いつけのために欧米に飛んだりするうちにある考えが浮かびました。それは、服飾文化の伝播には、写真や映画などのメディアが大きな役割を果たしているということです。まず写真で認識し、次に実物を見るのが現在のファッションのサイクル。つまり、ファッションを動かしているのは写真や映像などの「イメージ」なのです。そこで、ファッション写真を体系立てて収集することを提案しました。写真を収集している美術館なら国内にもありますが、

ファッション写真というジャンルをそろえた例はまだありませんでした。

増田 海外ですであつたジャンルなのですか。

池田 はい。国内にもこのジャンルはあつ



考えた末に、私はファッション写真とは、「人間の身体が写り込んでいるもの」と定義しました。服を着ていても脱いでいてもいい。あるいはデザイナー自身のポートレートでも構わない。身体のごく一部でもよい。人体が写っていることで、ファッションの時代性を感じさせる写真であることが重要だと思つたのです。

反論されたりしました。

増田 ファッションはアートの中での位置づけが難しいジャンルですよ。

池田 双方の業界で、当時は偏つた考えの方が多かったように感じます。「ファッションはデザインだが、アートの枠に収めるのは納得いかない」と。でも、生活文化に欠かせないものであり、時代を映す鏡であり、私たちが常に接するものです。だからこそ、美術館として何らかの形で整理する必要があり、また後世に残すべき生活デザインなのではないかと思つたのです。

増田 新しいジャンルで、ご苦労された点はどのようなのですか。

池田 神戸ファッション美術館は神戸市の管轄ですから、市役所の方にファッションというものを理解していただく必要がありました。展覧会の度にファッションとは何か、服を着るとはどのようなことなのか、そして写真の役割とは何かについて議論を重ねました。そもそもファッションというジャンルが美術館という箱の中に入ること自体に議論がありました。今こそ、ファッションの展覧会は珍

しくなくなりましたが、美術館側の人から、「どうして美術館がファッションを扱う必要があるのか」と問われ、また、ファッション業界からも「ファッションは時代を表現する『生もの』なのに、展示された時点でそれはなくなつてしまつたのではないか」と

池田 そうですね、直感的に発想する部分もありますが、全容がある日突然、ぱつと浮かぶわけはありません。休日にカラエから、外の景色をぼんやりと眺めながら考えることもあります。例えば、ルイ・ヴィトンの展覧会の企画を始めた時などは、代々のデザイナーが夢の中にまで出てきたのです。二代目のジョルジュ・ヴィトンがモノグラムモチーフというデザインを作つた経緯を延々と説明してくれました(笑)。モノグラムは四弁形のモチーフで知られていますが、夢の中で、「どうして四弁?」と私が彼に聞くと、「ルイ・ヴィトンで4つめに創作したモチーフだからだ」と言つたのです。グロリアノン、レイエタミエ、その次の模様として選んだ」と。私は目を覚まして、枕元に置いたメモ帳に書き留めました。実際のところは公式の記録がないのでわかりませんが、これくらい思い込まないとおもしろい

たのですが、「ファッション写真」を定義すること自体が難しいのです。例えば、モデルが服を着ていなくても、そう呼べる場合がありませぬ。あの『VOGUE』に掲載されている写真はすべてファッション写真だと言つてもいいかもしれませぬ。

たのですが、「ファッション写真」を定義すること自体が難しいのです。例えば、モデルが服を着ていなくても、そう呼べる場合がありませぬ。あの『VOGUE』に掲載されている写真はすべてファッション写真だと言つてもいいかもしれませぬ。

たのですが、「ファッション写真」を定義すること自体が難しいのです。例えば、モデルが服を着ていなくても、そう呼べる場合がありませぬ。あの『VOGUE』に掲載されている写真はすべてファッション写真だと言つてもいいかもしれませぬ。

企画は生まれません。

ハウスオブシセイドウに来たのは今年の2月です。こちらで昨年6月に開催されていた「マン・レイ展」のカタログに寄稿したのがきっかけです。マン・レイは、ファッション写真も多数残していたので、私が解説を加えることになったのです。

増田 資生堂には、美についてこだわりを持った企業だという印象があります。

池田 ええ。美は本来、個人的な価値基準によって成り立つものです。資生堂は、そのさまざまな美の表現に独自の製品で、常に前向きにサポートさせていただいています。ポスターやパッケージのグラフィック・デザインを手掛ける資生堂意匠部(現宣伝部)は、発足して来年で90年になります。化粧品として質の良いものをつくるだけでなく、手に取った女性が豊かな気持ちになれるパッケージのデザイン、あながれを持って見られるポスターやCMなどを提供しています。こうした心配りが、企業文化の根本にあると思います。

増田 ところで、企画の立て方に、公立美術館との違いはありますか。

池田 これまでは公立美術館にしながら、レイ・ウイトンやエルメス・ヴェルサーチといった民間の企業やブランドの力、時代の中の位置づけを見てきたわけです。今は、資生

堂という企業の内側から、企業文化とは何か、ブランドとは何かを考察し、外部に発信していることになりました。ハウスオブシセイドウでは、19世紀末から制作されているパッケージやグラフィックを展示しています。また、歴代の「イメージ」を見ることもできます。こうした常設展示に加えて、資生堂が持つ歴史や文化の「センス」を振りかけた企画展を行うことで、旬のアートやデザイン・ファッションなどを鑑賞していただくという趣向です。入場料が無料と

通して、資生堂の美意識をご覧いただく企画ですね。日本を代表する写真家の1人である石内都さんには、薔薇の写真や映像を撮り下ろしてもらいました。

増田 楽しみですね。今後の池田さんの目標は何ですか。

池田 できるだけ多くの方に展示会をご覧いただき、資生堂という企業をより深くご理解いただき、好きになっていただくことです。展示を見て、心を動かしてくださる方は必ずおられると信じています。納得のいく展示会が1つできれば、次はそれよりも良いものを作ろうと頑張ることができそうです。

増田 では最後に、学生へメッセージをお願いします。

池田 私は資生堂の仕事が大好きです。アーティストであれ、ブランドであれ、対象を好きにならないと、展示会はできません。そして、「どうしても形にしたい」という熱い気持ちが必要です。ファッション写真を収集し始めた時もそうでした。学生の皆さんも、本気になれる何かを見つけて、熱さをキープしてもらいたいです。思い続けていけば、きつとその方向に道は拓けていくと思います。できるだけ具体的にイメージをふくらませ、行動はそのイメージを意識して。熱い思いはきつと、仕事や人との良い出会いを引き寄せてくれますよ。

増田 わかりました。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



INTERVIEWER

熱い気持ちが人を動かす。その大切さを学びました。



増田 知恵さん

【文学部文化学科
美学及芸術学専攻2年次生】

ファッション・ショーサークル「neuf」に所属。メンバーは衣装をすべて自分たちの手で作っている。学内外でファッション・ショーを開き、演出も自ら手掛ける。将来の夢は化粧品に携わる仕事に就くこと。

池田さんは、夢を叶えて、継続している人ならではの充実感に満ちていました。神戸ファッション美術館時代から、話題の展示会をいくつも手掛け、毎日お忙しくされているのに、気さくに話をしてくださいました。やはり、熱い気持ちを持っているからこそ、魅力がにじみ出ていたし、お話に説得力があったのだと思います。私には将来、化粧品の仕事に就きたいという夢がありますが、やりたいことをやるために、池田さんのようにもっと熱い気持ちを持って行動するべきだと感じました。また、私たちのサークルでファッション・ショーを開催しているとお伝えすると、本物のショーを見ることを勧められました。そして、ショーの見せ方についてのアドバイスをくださいました。このお話を参考に、サークルでも頑張っていきたいと思います。

一生やりたい事を貫く

〜韓国留学を通して得たもの〜



夏に日韓学生合同キャンプを企画

「トクトヌンウリタン」（竹島は我ら韓国のものだ）。韓国人とお酒を飲むと必ずこの言葉が耳に入ってきます。韓国に来て間もない頃は日韓両国で竹島問題が熱狂的に報道された時期でした。今年2月から始まり、現在も続いている私の留学生生活は、自分の弱さと強さに直面する毎日です。「もっと成長したい」という自身への欲望を抑えきれず、京都の生活を中断し、隣国ソウルの名門、延世大学に派遣留学生としてやってきました。

韓国留学のきっかけは、昨年の夏、ソウルにある元従軍慰安婦の被害者が住む施設で、10日間の日韓学生ワークキャンプに参加したことです。そこには紛れもない過去の歴史が存在しており、被害者のおばあちゃんたちに出会い、悲しい歴史を目の前にただ言葉を失い、大きな衝撃を受け、自分自身でできることは何なのか、その疑問を問いたいため、また、自分自身を見つめるために留学を決意しました。10カ月間を最大限に利用するため、最初の半年は「ミニミニケーション」手段として語学勉強に専念しました。毎日通った語学学校や外国人寮に住むことで、韓国にいながら世界中のさまざまな国の学生や社会人と出会い、多くの刺激を受けました。ちなみに、現在はオーストラリアの学生と一緒に住んでいます。また、夏休みは旅行会社でインターンシップを経験しました。待っていても機会は得られないと、直接支店長宛てにメールを送り、個別に面接を



8月15日のソウル市庁



延世大学と高麗大学との定期戦

していただき、仕事をさせてもらいました。夏2カ月間、午前中の4時間は語学学校、そのままの足で午後の6時間、炎天下のソウルの町でひたすら仕事をしましたが、外国で働くということは、想像していたよりもはるかに厳しく失敗の連続でした。さらに、言葉が通じないことによるトラブルや真夏の猛暑で何度も投げ出しそうになりましたが、それでも最後まで働き抜いたことは私の中で大きな自信となりました。また、韓国労働社会の内側に生きる人々と過ごした日々は、私の仕事観に多大な影響を及ぼしました。秋からは、留学の最大目的である歴史学習に比重を置くと、め、史学科の授業を受講し、韓国の学生に混じりながら発表やディスカッションを通して双方の歴史認識を学んでいます。また、自分と同じ留学生がもう一度歴史について考える場を提供できたらと、自らが発起人となり学校全体で募集をかけ、歴史学習

会を開催し、週2回、学校外の活動として運営しています。そして、昨年出会うた元従軍慰安婦の被害者たちの元へ、今年は私が多くの学生を連れていきます。10カ月間の留学生生活を通して自分の中で驚くような大きな変化がありました。そして、自分のやりたいことをやり通す勇気を身につけました。一度しかない人生、他人のモノサシで生きるより、自分のやりたいことを貫いて納得できる人生を歩んでいくほうが難しいけれども、後悔しないと確信しています。だから、私は自分のしたいことをして生きて行こうと思います。同志社の仲間たちへの気持ちを伝えたくて、韓国から執筆しました。



カラオケは韓国でも盛り上がります

文学部文化学科国文学専攻4年次生

鈴木美和子さん（最前列左）

新島メモリアルウォーク

同志社は創立130周年を迎えた。この機会に今一度、建学の精神に立ち返り、そのルーツといえる米国ニューヨークランドで、歩くことを通して、同志社のアイデンティティーを確認するとともに、彼の地の「良心」の人々に感謝の念を捧げよう、というのが新島メモリアルウォークの趣旨である。参加した清田康晃さんに、この長い旅をレポートしてもらった。



最前列左から3人目が筆者

まず、僕は歩かなければならなかった。「農夫の2ドルを体験するため」に、ラストランドからアイモストまで、異国の地で80キロを歩ききる必要があった。週末を利用しての練習



ウォーク。半年間で歩いた総距離は約1千キロにのぼる。新島裏に関する勉強会、気候・治安といった現地調査も含め、会議は20回。

きつと僕は新島裏と同じ軌跡をたどったのだと思っ。今年2月、ある立って看板と出合った。「新島メモリアルウォーク」。足はすぐに学生支援課へ向かった。僕は世界に飛び出したかった。京都は美しい街だが閉鎖的で独特な雰囲気がある。しかし、それからの準備期間は苦難の連続だった。決して楽な航海ではなかった。

さらに、夏休みには2度の強化合宿を行った。その総距離は180キロ。一度目は3泊4日の京田辺合宿だった。4日間で140キロを歩く。朝8時から歩き始め、宿舎に帰るのは毎日夜9時過ぎだった。合宿中の最高気温は2日目の37度。爪は剥がれ、血豆

は潰れ、靴下は血で真っ赤に染まった。足は引きずらなければ前へ進まなかった。

9月10日。半年間の準備期間を経て、僕はやっとアメリカにたどり着いた。試験があるかもしれないし、不安もあった。前夜はあまりよく眠れなかった。

しかし、僕がアメリカで感じたのは伸び伸びとした開放感だった。未知の世界へ飛び込む。緊張と興奮で湧き立ち、きつと新島裏もアメリカの大地を踏んだとき、同じ感情を抱いたのかも知れない。僕は新島裏がニューヨークランドの地を踏んだから140年後再び同じ場所にいた。



アメリカについて3日目。ヴァーモント州ラストランドのメソヂス教会を訪ねた。今から131年前、新島裏が、日本にキリスト教主義の学校を建てたいと、かねてからの大志を訴えた場所だ。

荘厳な雰囲気のある教会。赤い絨毯の敷かれた階段を上る。そして新島裏が涙ながらに演説した壇上に立った。この教会で新島裏の演説に心を打たれた人々から、「農夫の2ドル」を含め、総額5千ドルもの寄付が集まったのだ。1874年、同志社はここで誕生したといってもいい。そして2005年、同志社創立130年目に、僕はいま、同じ壇上に立



つ。目の前には、131年前に新島が実際に使った聖書。僕はいまここにいて、時間が交錯する。あまりの感動で手が震えた。ウォークは全て山の中だった。誰人として落伍者を出さなかった。目の前に広がる雲海、湖面に映る紅葉、峠で食べたお昼のサンドイッチ。僕たちは歩いてきた。ここはアメリカだった。新島裏に2ドルを差し出した農夫が、きつと歩いたかもしれない道をたどりながら考えた。僕がもし新島裏の演説を日本で聞いていたら一体どうするだろう。実家に帰るための新幹線代を全て寄付して、青春18切符で12時間かけて東京まで帰るかも知れない！異国の地でキリスト教を学び、そして新島裏は同志社を作った。130年後、僕はその同志社で学んでいる。なぜ自分はいまこの地にいるのだろうか。日本では考えたこともなかった。新島メモリアルウォークでアメリカに渡り、同志社のそして自分自身の存在のルーツをたずねることができた。こんなにも素晴らしい10日間は、人生のうちにも二度とないと思える。本当に貴重な経験だった。(文学部文化学科国文学専攻2年次生 清田康晃)

CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

「DICOMO2005」で
ヤングリサーチャー賞を受賞



7月6〜8日、岩手県で開催された、マルチメディア分散、協調とモバイルシボジウム(DICOMO2005)で、大学院工学研究科知識工学専攻(前期課程)1年次生の早川裕志さんがヤングリサーチャー賞を受賞した。

ネットワーク情報システム研究室に所属する早川さんの発表論文は、「サービス指向アイキネクチャによる新マルチメディアネットワークの構築」。家庭内の情報家電同士をネットワークで接続し、情報を共有する、ホームネットワークの研究だ。「ホームネットワークは一般家庭にも広まりつつありますが、現状ではパソコンがすべての中心となっています。そうではなく、家電のみで自律的にネットワークを構築し、もっと簡単にデータの送受信が可能になるよう、より進んだプラットフォームの構築を行いました」と説明する。「まさか自分が受賞するとは思っていませんでした。

で、私服に着替えたところで受賞者の名前を呼ばれ、慌ててサンダル履きで式に臨みました(笑)。

学部時代は知識工学科で学んでいた早川さんだが、昨年度情報システムデザイン学科が開設されたことで、もともと興味のあるネットワーク情報システム研究室の門を叩いたという。「インターネットの基本システムのように、ユザに長く使ってもらえる完成度の高いホームネットワークのシステムを作りたいです」と話す。現在、研究室に所属する学生は3人。「少し寂しいですが、それだけに先生方からはじっくりと指導いただくことができます」。早くも次のアイデアに取り組み始めたという早川さん。「将来は企業の研究者として、さまざまな現場で必要とされるシステムの構築に携わりたい」と夢を語ってくれた。

全日本高校・大学生書道展賞を
漢字・調和体の2部門で受賞

7月29日、第10回全日本高校・大学生書道展の審査が行われ、大浦あすかさん(経済学部経済学科3年次生)が、全日本高校・大学生書道展賞を漢字、調和体の2部門で受賞した。

大浦さんは書道部に所属する。小学校1年生で初めて筆を持ち、約15年間、書道一筋に過してきた。今回3度目の応募で見事入賞した大浦さんは、賞は狙っていません。これまでとは比べものにならないほど練習に

取り組み、毎日2、3枚ずつ、1作品で少なくとも100枚は書き込みました。没頭しすぎてふと気がつけば朝になっていたこともありました」と振り返る。漢字部門に出品した作品は明の時代の書家、王鐸の字をもとにした創作。鮮やかな黄色を背景に五言古詩をリズムよく書き連ねた。漢字・かな交じりの調和体部門では線が交わってできる空間を広くすることを意識しながら、漢字とひらがなのバランスに配慮して書いたという。



書道部の部員は約50人。大浦さんは、それぞれいろいろな字を書いているのを見ることが楽しいです。友人の作品に触れることで、作品の幅が広がりました」と語る。大浦さんと同じく、書道部からは藤澤篤志さん(定森友貴奈さんが全日本高校・大学生書道展賞を1部門で受賞、また同優秀賞には有門大佑さん、岡本清泉さん、藤森晶さんが選ばれた。

自分の思いを表現できるのが書道の魅力」と語る大浦さん。来年度の連続受賞をめざし、早くも次回作の構想を練っている。

同志社書道連盟 連盟展

日頃の練習の成果として、同志社、同志社女子大学あわせて69人が出品します

【日時】12月17日(土) 18日(日) 10時～16時

【会場】建仁寺西来院

(京都市東山区大和大路四条下ル)

【入場料】無料

【お問い合わせ先】浦上茂之

TEL: 090-6670-8115

ジョブカフェベンチャーアワードで 政策学部1年次生が優勝



経済産業省が進める、若年者のためのワンストップサービスセンター(通称ジョブカフェ)モデル事業は、地域の実情に合った若者の能力向上および就業促進を図ることを目的とする。京都府が昨年度からこの事業に採択され、今年NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワークが、ジョブカフェ起業「を実施している。

10月21日に開催されたジョブカフェベンチャーアワードでは、5回の講座を通して自らのアイデアをビジネスプランに変えていく過

程を経験し、その成果を専門家審査委員の前が発表するコンテストを実施。当日は、7組のグループがプレゼンテーションを行い、審査委員からの質問にこたえていく必要があった。取り組み当初から学生たちを見てきたスタッフは、「最初会ったときは別人のように、しっかりと自分のプランを人に伝えることができるようになった」と、学生の成長ぶりに驚いた。

激戦を制して優勝したのは、「隠れ家リフレクソロジー at 自宅」というビジネスプランを発表した西野毅朗さん(政策学部1年次生)で、独創的な発想だけに留まらず、綿密な市場調査を行い、プランに客観性を持たせた点が評価された。(第2位:「アヌ」スプレを売る in Europe、第3位:「チャイナカフェと麻雀の融合」) (リフレクソロジー)

同志社大学法学研究会 第49回移動法律相談

同志社大学法学研究会では、活動の一つとして一般市民の方を対象に、月3回、今出川校地で無料法律相談を開催している。これは法律相談を通して机上の理論のみならず、現実の法律問題に触れることで、より実践的な知識を深め、問題を抱え悩んでおられる方々に微力ながらも役立てるようにつとめてきたことだ。また、この法律相談の発展版として、夏期休暇期間に、京都市以外の各都道府県でも移動法律相談を毎年実施し

ている。今年は福井県を舞台に、9月2・3日を福井市、4・5日を武生市で開催した。学生法律相談と言ってもその内容はかなり本格的で、相談に対して即答することはありません。どのような相談が詳しく個別に「入」でお聞きする「予審」の後、回答をお待ちいただく。その間、学生が回答を「検討」して相談に対するベストな解決方法を模索。その解決方法を元に、同行いただいている同



志社大学卒業生の弁護士の方や法学部教員のアドバイスを受ける。そして個別フィードバックをお伝えする。本書「段階になる。

本年度の移動法律相談はいくつかの悪条件だったが、連日たくさん相談者が訪れた。4日間を通して受け付けた相談件数は115件にも及び、相談内容も相続・離婚・金銭トラブル・破産・近所同士のトラブル・土地・建物・交通事故・労働問題など多岐にわたっていた。「本書」終了後に記入いただいたアンケートには、学生の真摯な

態度に好感を持っていたのだが、ありがたいという感謝の気持ちを表す言葉がたくさん書かれていた。来年は、記念すべき第50回目の移動法律相談を迎えるので、これらアンケートの意見を参考に、さらなる個人の人フルアップと準備を今から始めている。最後に、「このように多くの相談者に満足いただけたのは、同行していただいた諸先生方や準備期間中、本番日程中にお世話いただいた卒業生のみなさんをはじめ、ご協力いただいたみなさんのご支援と温かい声援があったことと感謝しております。

(法学部法律学科3年次生 三浦順子)

ホームカミングデー2005 “精神”に帰る一日



11月6日、卒業生をお迎えしての恒例行事となったホームカミングデーが今出川校地で開催された。あいにくの雨天にもかかわらず、

2千人を超す参加者があった。同志社礼拝堂での開会式を皮切りに、大谷貫総長の講演、野点音楽の共演、応援団演奏、クラーク記念館保存修理工事現場の見学などが行われるほか、モンゴル民族音楽を通じて、留学生と来校者が交流を深める場面も見られた。懐かしいキャンパスで師や友と過ごした精神に帰る日は、卒業生一人ひとりの心と母校との絆を深めるものとなった。

人力俵友之会 ツールド・山陰
～限界への挑戦! 800km～

今年 同志社大学人力俵友之会は結成30周年を迎えた。それを記念してこれまでよりも厳しいとされる山陰を、最大行専「ツールド」のコースを選んだ。「ツールド」とは人力車を曳きながら日本中を歩いて旅するもので、鍋・食料・全員分の荷物を乗せた3台の荷車と道路状況を偵察する自転車をともなめてメンバー全員で「ツールド」の地をめざす。「誰にでも可能だけれど、誰もやらないことを自分たち



の力で」が私たちのモットーだ。近年では、2003年度北海道縦断(稚内～函館)、2004年度東海道(東京～京都)を実施。そして今年には山陰(京都府・天橋立～山口県・下関、約800km)を旅した。
出発は、8月1日、天橋立、城崎に到着するまでの丹後半島の道のりは予想を超えることもなく、ハードなものだった。連日の猛暑、そしてひたすら続く狭い峠道。人力車自体

が先輩たちの手作りであることから、従来のものより重く、峠道では人では動かさず、後ろから数人がかりで押す場面が数多くあった。さらにいくらか歩いても商店はあるが、自動販売機も無く、峠の途中で水が尽きてしまったこともあった。

丹後半島が終わり、兵庫県の標識が見えたときの感動は言葉では言い表せない。その後、城崎を出発して鳥取砂丘を抜けた。米子ではぶつげ本番でカラオケを歌うという変わったラジオの取材も受けた。さらに出雲大社を横目に、浜田、萩と進み、8月29日に「ツールド」の地、山口県は下関市に到着。ゴールの関門海峡まで、およそ1カ月をかけて歩いたことになる。1日に歩いた距離は平均30km。ともに「ツールド」した仲間との

思い出と友情は一生消えないだろう。
「旅の始まりは夢であったとしても、旅先で出会ったのは現実である。しかし、その旅を継続させるのは、また夢である」。作家 沢木耕太郎氏の言葉だが、30年間に渡って先輩方から受け継がれた夢は、私たち後輩がしっかりと受け継いでいる。そしてこれからも受け継がれていくだろう。人力俵友之会の旅はまだ続きます。
旅は出会い。仲間の新しい一面との出会いはもちろん、道中では様々な方と出会った。私たちはこの旅をふり振り返り、山陰を旅したのではなく、旅させてもらったことに気づいた。丹後半島の山奥で水を分けてくれたおはあちゃん、差し入れを下さった卒業生の皆さん、鳥取で朝まで語ってくれた不思議なカレ屋

さん、野宿するのを見かねて泊めてくださったホテルのオーナー……。この旅で出会ったすべての方々に感謝し、お礼のことは述べたい。ありがとうございました。
(商学部商学科3年次生 西下文平さん)

初の学生チャンピオン、
ビリヤード日本一!

10月29、30日に京都KBSホールで開催された、第53回チャリティー全日本アマ・B選手権大会が、ケルトビリヤード・ロテーションで商学部商学科4年次生の中野雅之さんが見事、チャンピオンとなった。この大会は、社会人、学生を合わせた全国47都道府県代表の192人によるトーナメント戦で競われた。社会人参加の大会で、学生チャンピオン誕生は初の快挙。



中野さんは、高校1年生からビリヤードを始め、持ち前の精神力と勝負強さでめきめきと上達し、2年時には「ビリヤードA級ライセンス」を取得した。
11月21日から開催された全日本プロ選手権にも海外招待選手に選ばれる。唯「アマチュア」として参加。また、12月12日から始まる全日本学生選手権に向けて、「昨年の優勝に続いて2連覇を狙っている。学生最後の大会だ

から悔いのないよう頑張りたい」と抱負を語ってくれた。

文部科学省「魅力ある大学院教育」
「イニシアティブ」に採択

大学院教育機能向上と創造性豊かな若手研究者の育成を狙いとする文部科学省Q「魅力ある大学院教育「イニシアティブ」」に、総合政策科学研究科の「イニシアティブ」が採択された。同コースは、2006年4月に開講予定で、市街地や農山村での社会実験を履修要件とするのが特長。地域社会の公共問題を解決する実践能力を備えた行動型研究者の養成をめざす。

初年度にあたる今年度分の全申請件数は、人社・理工・農・医療系の3分野あわせて147大学338件。国公立45大学の取り組み97件が採択されたが、国立大学が全体の8割を占めた。

同志社京田辺祭2005

京田辺校地では、11月5・6日(4日は前夜祭)に「同志社京田辺祭2005」を開催した。この行事は、来年度開学20周年を迎えるにあたって、創立記念行事月間に、京田辺市との包括協定締結、文部科学省の特色ある大学教育支援プログラム「特色GPO」



「現代的教育
ニーズ取組支
援プログラム現
代GPP」の採
択をきっかけ
にキャンパスの
活性化の一環
として実施さ
れた。大森樹

監督講演会、工学部オープン水環境体験
ツアー、外国料理紹介フリーマーケットなど
多彩な催しが行われ、同日程で開催された
スポーツフェスティバルとあわせて大いに盛り
上がりを見せた。本学学生・教職員だけに
とどまらず、地域住民の方々、卒業生等、全
日程の参加者数は約4,000人。大学と
地域がともに創りあげる新しい私たちの祭
は楽しみながらそれぞれのつながりを強め
る絶好の機会となった。

ラグビー場人工芝整備資金募金 についてお願い

本学では従来から教育研究活動の拠点
となる施設設備の整備に取り組んでいま
した。とりわけ、体育施設は、1986年
の田辺校地開校を機に拠点化が整い、そ
の規模は日本の大学でも有数とされてい
ます。

一方、10年間に各種競技種目での練習・試
合環境の変化と高度化は進んでおり、本

学は、安全性確保の観点を最優先し、正課・
課外体育活動はもとより多くの学生の利
用に供すること、時代の要請する水準の整
備の観点から、年次計画により順次整備
を進めてきました。

今般、この体育施設整備計画に含まれ
るラグビー場の人工芝整備にあたり、内外
からの声援を糧にその早期実現に向けて
「同志社大学体育施設ラグビー場人工芝
整備資金募金」を広く社会各界に呼びか
けることとしました。また、ラグビー部は
2010年(平成22年)に創部100年
目を迎えます。大学としてはラグビー場の
整備にあわせ、記念式典、記念試合等の記
念行事をラグビー部と共催する予定です。
つきましては、諸事ご多端の折、まことに
恐縮に存じますが、本学が実現しようとす
る教育理念とこの念願を深くご理解いた
だき、なにとぞ温かいご援助を賜りますよ
うお願い申し上げます。

概要

【募集金額】5000万円
【募集期間】2005年10月1日から
2007年3月31日まで

【申込金額】個人：1口2万円(1口未
満の寄付もありがたくお受けいたします)

法人：任意*寄付金は減免税措置(税
制上の優遇措置)を受けることができます。

【お問い合わせ先】スポーツ支援課
TEL: 0774-657417

E-mail: jfsport@mail.doshisha.ac.jp
(スポーツ支援課)

資格試験 合格ランキング

司法試験最終合格者数(ベスト10)

2005年度			2004年度		
順位	大学名	合格者数	順位	大学名	合格者数
1	早稲田	228	1	早稲田	226
2	東 京 京	225	1	東 京 京	226
3	慶應義塾	132	3	慶應義塾	170
4	中 央 央	122	4	京 都 都	147
5	京 都 都	116	5	中 央 央	121
6	大 阪 阪	57	6	一 橋 橋	57
7	一 橋 橋	51	7	明 治 治	46
8	同 志 社 社	48	8	大 阪 阪	45
9	名 古 屋 屋	32	9	神 戸 戸	33
10	神 戸 戸	30	10	同 志 社 社	30
	北 海 道 道	30			

公認会計士第2次試験合格者ランキングについては調査中です。
本学からは、商学部生が3人合格していることがわかっています(11月現在)。

卒業生の新刊図書

『What's ボランティア
〜世界があなたをまわっている〜』

平田 哲さん 著(1958年神学研究科修了)
アジアボランティアセンター 1,000円(税込)

『母との四十年ぶりの入浴』

出石 賢司さん 著(1978年経済学部卒業)
文芸社 1,300円(税別)

『センター試験徹底演習
現代社会問題集 新課程用』

國松 勲さん他 編著(1974年法学部卒業)
東京書籍株式会社 820円(税込)

『時代小説傑作選「犬道楽江戸草紙」』

澤田 瞳子さん 編(2003年文学研究科修了)
徳間文庫 590円(税別)

『戦後京都の詩人たち』

河野 仁昭さん 著(元同志社社史資料室職員)
編集工房ノア 2,000円(税別)

『新撰京の魅力
谷崎潤一郎の京都を歩く』

河野 仁昭さん 著(元同志社社史資料室職員)
淡交社 1,500円(税別)

本学教員の最新(総合情報センター調べ)

国際通貨制度の選択
小野塚佳光 編訳 岩波書店 3,400円

学校心理学
谷口弘一 他 執筆 北大路書房 3,600円

ゲルハルト・リヒター 写真論・絵画論
清水稜 訳 淡交社 2,800円

民法法と精神医学
大谷貴 他 執筆 中山書店 1,000円

コミュニティ再生と地方自治体再編
新川達郎 他 執筆 きよこせい 1,905円

会計倫理
瀧田輝己 訳 同文館 3,500円

Managing Global Business
Communication
亀田尚己 著 丸善 2,600円

ゲルハルト・リヒター
清水稜 他 執筆 淡交社 2,571円

対論・日本のマスメディアと私たち
浅野健一 他 著 晃洋書房 1,800円

『English Teaching :
Theory, Research and Practice』
北尾謙治 他 著 英潮社 9,000円

Fundamentals of
English Language Teaching
北尾謙治 他 著 英潮社 3,000円

法学講義 民法1 総則
奥田昌道 他 編著 悠々社 2,800円

近代日本の企業者と経営組織
安岡重明著編 藤田貞郎 石川健次郎 他 執筆
同文館出版 3,500円

気與土風・唐宋古文の進程與背景
副島郎 著 上海古籍出版社 25元

現代人に魅せる知識人たち
出原政雄 他 執筆 世界思想社 2,000円

哲学は何を問うべきか
中山善樹 他 執筆 晃洋書房 3,800円

大学生のためのキャリア開発入門
中村龍子 谷本啓 他 執筆 中央経済社 2,000円

アウンツェンツェン 回教徒
柿本昭人 著 春秋社 3,500円

WTO紛争解決手続における履行制度
大矢根聡 瀬領眞悟 他 執筆 三信堂 4,500円

弁頭屋
遠藤徹 著 角川書店 1,400円

経済学部生だった私は、銀行、証券会社、保険会社など金融中心に就職活動した結果、社会貢献度の高さが決め手となり、損害保険会社に就職を決めました。東京本社に5年間勤務した後、山口支店に異動し、自動車ディーラーの担当営業になりました。ディーラー担当は損保業界で最も過酷と言われています。山口県の端から端まで飛び回り、休み無しで働きましたが、最高の仲間と最高のお客様に恵まれ、仕事は充実していました。販売実績で全国トップレベルの成績を修め、社会人として「勝つ」喜びを経験するこ

MY LIFE 「仕事」

こんなに話し上手になっていた。
英語でビジネス文書を書いていた。
卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して級友の方々にとっては良き近況報告、生活の現実を考える機会になれば幸いです。



とができました。

その後、東京に戻って来た頃、巨大企業であるがゆえに、組織運営が硬直化してないだろうかという疑問を感じるようになり、そしてその中で働くことに、サラリーマンとしての限界を感じました。そんな時に声を掛けてきたのがプルデンシャル生命保険でした。私はかねてから、消費者に生命保険の本質がきちんと伝わっていないと感じていました。生命保険は「ご本人のいなくなつた後、遺されたご家族の生活を守る大切なものです。生命保険業はその人の生涯に真剣に向き

合い、深く関わる尊い仕事だと思つたのです。この点、私とプルデンシャル生命保険とは同じ考え方でした。「日本の生命保険事業の在り方に変革をもたらす」と謳う経営理念に共感した私は、転職を決意。お客様に信頼され、保険金を確実にお届けする」といつた「た」の約束を守る仕事である、「ライフプランナー」のキャリアをスタートさせることになったのです。

ライフプランナーの給与は「フルコミッション制」いわば個人事業主のようなものです。自由なようにも見えますが、その分、自らをコントロールする必要があります。そこで私は、自費で社外研修プログラムを受講し、目標達成に向けての意識を高め、実践する「トレーニング」を行っています。私の人生理念は「貢献して社会貢献です。例えば、お客様が困つていければ、解決の助けになるサポートナーから情報を聞き、解決法を提案します。アドバイスできる引き出しを自分の中に増やして、どんな有形無形のサービスを提供できるかを常に考えています。また、MBA、CFP、DCプランナーなどの資格取得計画も立てています。そして定年後は、教育やビジネスコンサルティングに携わりたいと考えています。やはり最終的にはこのようにして蓄えた経験やスキルノウハウを社会に還元してこそ社会貢献ではないかと考えているのです。

学生の皆さんにお伝えすることがあるとすると、今の私があるのは前職であつただけ頑張つたという自信を支えられていゝのです。そして、「いつまでもトップセールスになる」「何歳までに事業を立ち上げる」など、明確な目標を持って生きることが必要です。皆さんも学生のうちに「何がやりたいのか」「いつありたいのか」といつ将来のビジョンを持ってください。そこに向かつて「日々、トレーニング」に焦点を当てて実践すること。就職の際はそのビジョンと合致した企業理念を持つ会社を選んで欲しいと思います。そして親、家族、周囲の人々さらには広く社会の人々に貢献できるレベルまで、自分を高めていけることを願っています。私も30歳代、40歳代、50歳代、また60歳代以降の明確な目標に向かって、日々を大事に過ごしています。今が一番楽しい、これからはもっと良くなると思っています。

P R O F I L E



田辺 嗣朗さん
【1992年経済学部卒業】
プルデンシャル生命保険株式会社
ライフプランナー

体育会水泳部に所属していた田辺さんは、高校3年間を含め計7年間の寮生活を送つた。「大勢の中で暮らしたおかげで、いやが上にも協調性?が身につきました」。3年次からコーチ兼主務としても活躍。「コーチとマネジメントの経験は生きていますね。オリンピックへの夢が破れたフラストレーションを、今、ビジネスで発散しているのかも(笑)」。現在もジムで身体を鍛える。「プロの営業マンとしては、健康管理も重要です」。

私と

学生時代、とても無口だったあの人が、
学生時代、英語の苦手だったあの人が、
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
何を考えてきたかを取材しています。
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生

MY JOB MY LIFE
電気電子部門の
技術士として、最適な
電気設備を提案する。

私が学んだ工学部電子工学科では、電
気工学分野も幅広く学ぶことができました。
建設業に興味があった私にとっては幸い
でした。というのも建設業には、電気工学
の知識を活かせる電気設備という部門が
あるからです。そこで私は建設業への就職
を視野に入れ、雨谷昭弘教授のもとで落
雷がインテリジェントビルに与える影響につ
いての研究を行いました。当時、学科内では
メーカーへの就職希望者がほとんどで、建



設業志望の女子学生は珍しかったようです。
そのような状況下、私を受け入れてくれ
る企業を自ら探し回った結果、念願叶って
大手ゼネコンの株式会社大林組に入社さ
せていただくことができました。
入社後は大阪本店の設備設計部に所属
し、建築電気設備の設計を担当しました。
さまざまな建物の受変電設備、照明設備
や電話、LANなどの通信設備、自動火災
報知設備など、多岐にわたる電気設備設
計を経験しました。
結婚を機に関西を離れて東京で暮らす
ことになりましたが、学生時代から望んで
いた仕事に就くことができました。ですから、
辞める気は起きませんでした。そこで株式

会社きんでんに転職。ゼネコンから総合設
備エンジニアリング企業への転職ですが、同
じ業界であるため、それまで培ったスキルを
そのまま活かすことができました。現在の
部署はCS(Customer Satisfaction)サービ
ス部です。顧客のニーズを把握し、顧客の立
場になって技術的解決策を企画提案しま
す。最近の傾向は、地球温暖化ガス削減や
省エネルギーに関する要望が大変多いこと
です。一例ですが、建物内に設置する発電
機から発生する排熱を、空調や給湯に有
効利用するコージェネレーションシステムとい
う設備があります。これには私の専門外で
ある熱学の知識も必要となりますが、私が
担当した顧客へ提案を行い、気に入ってい
ただき、実際に納品・施工をさせ
ていただいたことがあります。勉
強すべき分野はまだまだまだたくさ
んありますが、それだけにこの仕
事にやりがいを感じています。今
年あらためてCO₂削減をキーワ
ードに顧客に提案・アドバイスを行
う社内プロジェクトが発足し、私も
そこに参加しています。京都議定
書が発効された今、新たなビジネス
チャンスであると同時に、子孫が
暮らす地球の環境を守ることに
なるので力を入れて取り組んで
いるところです。

電気設備のプロとして業務に携
わるのには、必要な資格がいろいろ
あります。私は自己啓発のため
にも第3種電気主任技術者や消

P R O F I L E



高松 篤子さん
【1994年工学部電子工学科卒業】
株式会社きんでん
技術本部CSサービス部勤務

「同志社の先生方や、前の職場の方々とは現在も交
流があります。日々、人の縁の大切さ、感謝の気持ち
を感じています」と語る高松さん。「同志社出身者は、
仕事に対して前向きで社会に出てから伸びる人が多い。
高松さんはその代表的な存在」と、上司からの信
頼も厚い。職務のひとつとして職業能力開発総合大
学校電気工学科の非常勤講師を務める。「学生時
代の講義を思い出しながら教壇に立っています。学
生に興味を持って話を聞いてもらうのが楽しみです。」

防設備士、照明士、電気工事施工管理技
士などの資格を取得し、2年前には難関
といわれる技術士(電気電子部門)の資格
を取得することができました。技術士には
化学、機械など理工系のさまざまな部門が
あります。その道のプロとして活躍するた
めに、工学部生の皆さんには、手始めに学
生でも受験できる技術士補資格にぜひ挑
戦してほしいと思います。
また、新技術開発や技術的解決策を見
出すには、知識だけでなく柔軟なアイデアが
多くの人とコミュニケーションをとって感性
を磨くことが肝心です。同志社の自由な
校風で育った皆さんならきっとそれは可能
です。皆さんの活躍を願っております。

ら せ CEMENT

【場 所】今出川校地寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270
いずれも詳細は掲示や本学ホームページ等でお知らせします。
内容は都合により変更となる場合があります。

Cinema

12月8日(木)「さよならみどりちゃん」プレミア上映会&ゲストトーク
【時 間】ゲストトーク 18:30~/上映(90分)19:00~
12月15日(木)「パッチギ!」&井筒監督トークショー
詳細はP.26外国文化週間を参照

LIVE&CONCERT

①12月 1日(木) パリの熱帯夜 19:00~
②12月 8日(木) 桂文福 講演落語 14:00~
③12月22日(木) SOUND TOURhythm 19:00~
【料 金】①②は入場無料、③は整理券が必要です。
詳細は掲示や本学ホームページでお知らせします。

クローバーシアター

毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールで映画史に残る名作を上映します。
【日 程】12月6日(火)~12月20日(火)の毎週火曜日
【場 所】クローバーホール(今出川校地 寒梅館地下1階)
【料 金】無料
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課TEL:075-251-3270
詳細は掲示や本学ホームページ等でお知らせします。

観に行こう聴きに行こう ~ 学生団体12月の活動予定 ~

同志社学生混声合唱団C.C.D. 第53回定期演奏会
【日 時】12月3日(土)17:30~ 開場16:30
【場 所】文化パルク城陽プラムホール
【お問い合わせ先】075-251-4853
ゴスペルクワイア Joyful Joyful クリスマスコンサート2005
【日 時】12月3日(土)18:00~ 開場17:30
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール【料 金】300円
【お問い合わせ先】青木090-8237-3618
ピアノ研究会コンサート
【日 時】12月9日(金)16:00~【場 所】京田辺:多目的ホール
演劇集団Q 新人公演「熱海殺人事件モンテカルロイリュージョン」
【日 時】12月9日(金)18:00~、
10日(土)14:00~・18:00~、11日(日)14:00~
【場 所】今出川:新町別館小ホール
【お問い合わせ先】075-251-4840
同志社大学応援団吹奏楽部 第36回定期演奏会
【日 時】12月10日(土)18:30~20:30 開場17:30
【場 所】八幡市文化センター大ホール
【お問い合わせ先】075-251-4460
第101回同志社グリーンクラブ定期演奏会
【日 時】12月10日(土)18:00~ 開場17:00
【場 所】京都コンサートホール大ホール
【お問い合わせ先】075-711-3090

人形劇団「阿呆加座」人形劇公演
【日 時】12月10日(土)13:00~【場 所】男山中央公民館
【お問い合わせ先】075-251-4752
会計学研究会 第72回西日本学生会計学研究会
【日 時】12月10日(土)10:00~18:00、11日(日)10:00~18:00
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4741
リーダークラウン 創立72周年年度定期演奏会
【日 時】12月11日(日)15:00~ 開場14:30
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4851
漫画研究会 京都漫研合同パネル展示会
【日 時】12月13日(火)13:00~19:00
14日(水)~16日(金)10:00~19:00
17日(土)10:00~15:00
【場 所】今出川:寒梅館ギャラリー【お問い合わせ先】075-251-4827
neuf ファッションショー
【日 時】12月15日(木)15:00~
【場 所】今出川:寒梅館クローバーホール
【お問い合わせ先】075-251-4754
Folk Song Society(F.S.S.)クリスマスコンサート
【日 時】12月17日(土)12:30~18:30
【場 所】京田辺:多目的ホール【お問い合わせ先】075-251-4828
同志社大学応援団 アトムフェスティバル2005
【日 時】12月17日(土)時間未定
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4636
コールフリーゲル 第39回定期演奏会
【日 時】12月18日(日)18:30~ 開場18:00
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4816
同志社雅楽会 第12回定期公演
【日 時】12月23日(金・祝)17:00~ 開場16:30
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4837
第41回全同志社メサイア演奏会
【日 時】12月24日(土)18:00~ 開場17:00
【場 所】京都コンサートホール
【料 金】S席2,000円 A席1,000円(全席当日指定)
【お問い合わせ先】全同志社メサイア演奏会実行委員会090-6607-2634
同志社混声合唱団こまくさ 第36回定期演奏会
【日 時】12月25日(日)17:00~20:30 開場16:30
【場 所】今出川:寒梅館ハーディーホール
【お問い合わせ先】075-251-4841
同法会 国際法模擬裁判大会(JESSUP2006国内予選)
【日 時】12月26日(月)・27日(火)9:30~18:00
【場 所】今出川:寒梅館内各教室・会議室
【お問い合わせ先】075-251-4774
ホームページ(<http://www.doshisha.ac.jp/>)の「観に行こう聴きに行こう」もご覧ください。

同志社大学ホームページリニューアル

12月から同志社大学ホームページ(<http://www.doshisha.ac.jp/>)を一新します。「求める情報を求める人に」を目標に、ユーザーができるだけ少ないクリック数で得たい情報にたどりつけるような設計に改良しました。同志社大学の新しい動きを常に広く知ってもらえるよう、情報発信します。強力な情報収集ツールとして積極的に活用してください。

ANNOUN お知

同志社大学 第32回外国文化週間

テーマ: DIVERSITY OF CULTURES THROUGH IMAGERY「映像で見る外国文化」

【日程】12月1日(木)~15日(木)
【場所】今出川校地、京田辺校地
【入場料】無料(映画「パッチギ!」を除く)
【お問い合わせ先】言語文化教育研究センター TEL:0774-65-7070

12月1日(木) —————
パリ舞踊体験ワークショップ(共催:今出川校地学生支援課)
要事前申込み
【時間】13:30~(70分)
【場所】今出川校地 寒梅館クローバーホール
【講師】大西由希子氏
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

講演
「パリ社会はいま クタ爆破事件以後の宗教とアイデンティティー」
【時間】17:00~18:30
【場所】今出川校地 寒梅館A会議室(地階)
【講師】永淵康之氏(名古屋工業大学大学院工学研究科助教授)

パリ舞踊公演『パリの熱帯夜』(共催:今出川校地学生支援課)
【時間】19:00~
【場所】今出川校地 寒梅館ハーディーホール
【講師】大西由希子氏
【出演】パリ舞踊グループ チリ・デウィ&ガムランバンド ウロツテナヤ子
【演目】パニャムプラマ(歓迎の踊り)、トゥヌン、マルガバティ、
チョンドン・ガンブー、男性仮面舞踊 etc.

12月5日(月) —————
映画
「野獣たちのバラード」(フィルム提供:ロシア映画社)
ミハイル・ロム監督(1966年/129分/モノクロ/16ミリ)
【時間】13:00~
【場所】京田辺校地 多目的ホール
「この世界を覗く 戦争の資料から」
(フィルム提供:東京ドイツ文化センター)
ハルーン・ファロッキ監督(1988年/75分/カラー/16ミリ)
【時間】15:30~
【場所】京田辺校地 多目的ホール

12月9日(金) —————
羽田澄子監督 映画上映&講演
「山中常盤」(2003年/100分/カラー/35ミリ、英語字幕付)
【時間】15:00~
講演「私と映画」(共催:AKP)
【時間】17:00~18:30
【場所】今出川校地 寒梅館ハーディーホール

12月15日(木) —————
井筒和幸監督 映画上映&講演
(今出川校地学生支援課主催WOT企画)
「パッチギ!」(2004年/119分/カラー)
【時間】映画①15:00~②18:30~/講演 17:15~18:15
【場所】今出川校地 寒梅館ハーディーホール
【料金】本学学生・教職員無料/他学生500円・一般1000円

12月1日(木)~9日(金) —————
パネル展『白バラ』 ヒトラーに抗した学生たち
【場所】京田辺校地 同志社ローム記念館

障がい学生支援スタッフ大募集

障がい学生の自律支援と学生同士の支え合いをめざし、年間を通じてスタッフを募集しています。

~学内・学外を問わず、関心のある方ぜひ登録ください~

アシスタントスタッフ(有償) 募集

聴覚障がい学生の講義保障・・・ノートテイク(筆記通訳)、パソコン通訳、手話通訳、ビデオ字幕付け

視覚障がい学生の講義保障・・・テキストファイル文字校正

ボランティアスタッフ(無償) 募集

視覚障がい学生への支援・・・ガイドヘルプ、対面朗読、代筆、代読など
肢体不自由学生への支援・・・車椅子介助、代筆など

ランチタイムのお気軽手話勉強会

毎週火曜日と木曜日のランチタイム(12:30~13:00)に、京田辺校地学生支援課(嗣業館1階)で、金曜日のランチタイムには、今出川校地寒梅館1階BOX-Dで、お気軽手話勉強会を行っています。パンやお弁当を食べながら楽しく手話を学んでいます。飛び入り参加も大歓迎です。

卒業式・入学式手話通訳勉強会

2006年2月に卒業式・入学式手話通訳勉強会をします。詳細が決まり次第HP等でお知らせしますので、興味のある方はふるってご参加ください。初心者の方も自宅学習できるようDVDを貸し出します。

【お問い合わせ先】

今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410

E-mail:jt-gakse@mail.doshisha.ac.jp

同志社京田辺クリスマス燭火賛美礼拝

【日時】12月10日(土)16:30~開場16:00
【場所】京田辺校地 新島記念講堂
【お問い合わせ先】キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

同志社クリスマスキャンドルライトサービス

【日時】12月22日(木)18:00~(17:30開場)
【場所】同志社栄光館ファウラーチャペル
(今出川校地女子大学・女子中高内)
【入場料】無料
【お問い合わせ先】同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141

ふらっと 2005年度秋学期「^{ふらっと}プログラム」

【場所】京田辺校地多目的ホール 【料金】無料
飛び入り参加大歓迎!体験型セッションイベント「music」SESSION.3
【日時】12月14日(水) 16:45~
レギュラー講師:山崎康(パーカッショニスト)* ゲスト講師あり
クリスマス・プレLIVE「A.S.P LIVE」
モンドロックJAZZのバンドスタイル、A.S.Pのライブ!
【日時】12月21日(水) 16:45~

WOT WOT(ワット)!

WOT=What's on Thursdays!合言葉は「木曜日には何かがある!」開講期間中の毎週木曜日、寒梅館ハーディーホールを利用した映画上映・コンサート等、様々なプログラムを開催します。

My PURPOSE

挑戦する人

特別指定選手、そしてJリーグの舞台へ

サッカーと学問の両立

地元の高槻市にあるクラブチームでサッカーを始め、小学校3年生の時、ちょうどJリーグが開幕した年でした。中学時代は地区選抜に選ばれ、金光大阪高等学校へと進学。長身を活かし、ヘディングで高いボールを競り合つことが得意な私のポジションは、ディフェンダーです。高校2年生で全国高等学校総合体育大会に出場し、ベスト16の成績を修め、国民体育大会大阪代表にも選ばれました。

私の高校はサッカーの強豪校として知られていますが、定期試験で欠点をとると部活動が禁止されてしまいます。好きなサッカーをするためには、勉強をおろそかにできません。勉強とサッカーの両立、その姿勢を自分に叩き込みました。だから、大学は、両方と



もレベルの高い同志社大学を選んだのです。

文学部社会科学科で社会学を専攻したのは、現実のさまざまな社会問題の原因を理論的に究明できるという点に興味を惹かれたからです。もちろん、勉強とサッカーとの両立は続けました。単位が取得できず焦ってしまうとブレに影響が出るし、真剣にサッカーに取り組まなければ勉強にも身が入らない。両方で結果を出すことが自分にとってベストだと思っています。

そして今年の5月、私はワッセル神戸のJFA・Jリーグ特別指定選手に認定されました。これは、大学のサッカー部に籍を置きながらJリーグの試合に出場できるという制度です。プロ選手と一緒に練習し、実力が認められればJ1の試合にも出られるのです。私は、5月28日にナビスコカップの浦和レッズ戦に出場することができました。ピッチに立てたのは短い時間でしたが、もしもせぬしかし、そこで感じたことはプロ選手のサッカーに対する厳しさ、チームのプレーに込める思いの強さでした。「この環境でサッカーをしたい」という思いは、いっそう強くなりました。

サッカー部主将でもある私の役目は、プロの技術はもちろんな精神面での強さを、厳しさをこたえたいことを

チームに持ち帰って、同志社大学サッカー部のチームが良くなるように還元することだと思っています。でも、ただ口で言うだけでは伝わりません。個性の強いメンバーが集まっているのでなおさらです。だから私は日々の行動やプレーで示すことを心がけて、同志社をめざす「全員サッカー」を徹底させていきました。主将という立場上、周囲からのプレッシャーも相当なものがあります。でもチームメイトから、お前が主将でよかった」と言ってもらえると、心底報われた気持ちがあります。

卒業後は、念願叶ってJリーグ選手への道を歩きます。プロとして活躍できるのは10年ほどかもしませんが、しかし、やるからにはがむしゃらに上をめざし、いつかは日本代表に、そして海外でプレーするという夢を叶えたいと思います。



田中 淳也さん

【文学部社会科学科社会学専攻4年次生】